

第 2 期 神栖市  
スポーツ振興基本計画後期計画  
(案)

令和 7 年 3 月 神栖市教育委員会

# 目次

## 第1章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨
- 2 国・県・市の動き
  - (1) 国の動き
  - (2) 県の動き
  - (3) 市の動き
- 3 計画の概要
  - (1) 計画の位置づけ
  - (2) 計画期間

## 第2章 第2期神栖市スポーツ振興基本計画の施策中間評価

- 1 第2期神栖市スポーツ振興基本計画（前期計画）の各施策別実施状況
  - (1) 基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進
  - (2) 基本目標2 スポーツ施設の整備・充実
  - (3) 基本目標3 スポーツ推進体制の整備
  - (4) 基本目標4 競技力向上対策の推進
  - (5) 基本目標5 スポーツによるまちの活力づくりの推進

## 第3章 本市におけるスポーツ環境について

- 1 スポーツ施設の整備状況
- 2 スポーツ指導者の育成
- 3 スポーツ推進等に向けての支援状況
- 4 スポーツ大会等の開催状況

## 第4章 意識調査結果

- 1 スポーツに関する市民・団体等意識調査
- 2 調査結果からみえる課題
  - (1) 市民意識調査
  - (2) 団体等意識調査

## 第5章 計画の基本的な考え方

- 1 基本理念
- 2 計画見直しの考え方
- 3 基本方針
- 4 基本目標
- 5 計画の成果指標

## 6 施策の体系

### 第6章 施策の展開

- 1 施策の位置づけ
- 2 基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進
- 3 基本目標2 スポーツ施設等の整備・充実
- 4 基本目標3 スポーツ推進体制の整備
- 5 基本目標4 スポーツによるまちの活力づくりの推進

### 第7章 計画の推進体制

- 1 スポーツ行政の総合的な推進と進行管理
  - (1) 市民との協働
  - (2) スポーツ団体等との連携
  - (3) 行政関係部署との連携
- 2 計画の進行
- 3 計画の進行管理

### 資料編

- 1 スポーツに関する市民意識調査
- 2 スポーツに関する団体等意識調査

## 第1章 計画策定にあたって

### 1. 計画策定の趣旨

本市では、令和2年3月に「第2期神栖市スポーツ振興基本計画」を策定し、「市民ひとり・1スポーツのまち」をキャッチフレーズに「みんなで築く 生涯スポーツ都市かみす」の将来像の実現を目指して、これまで各種施策・事業を推進してきました。本計画は、令和11年度までの10年間を計画期間とし、本年度はその中間年度にあたることから、今回、本計画の見直しを実施するものです。

計画期間中は、世界的な感染症の蔓延を受けて、各種スポーツイベントの多くが中止となる中、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が1年遅れの令和3年に無観客ながらも無事開催され、近隣の茨城県立カシマサッカースタジアムでサッカー競技が実施されるとともに、本市でも神之池や市民体育館においてチュニジア共和国代表チームの事前合宿が実施されました。その後、感染症が落ち着きをみせるにつれて、スポーツに対する機運が以前にも増して高まっています。

また、本市では令和6年9月から、中学校における部活動は原則平日のみとし、休日は新たに創設した地域クラブ等での活動に展開する等、学生や地域のスポーツを取り巻く環境が大きく変化してきています。

本計画の策定にあたっては、このようなスポーツに対する機運の上昇とともに、国のスポーツ基本計画や県のスポーツ推進計画、本市の総合計画や関連計画との整合性を図りながら、市民や市内スポーツ団体の意向も踏まえた上で、誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる豊かでうるおいのあるスポーツ社会の実現と、スポーツツーリズムの推進により活気のあるまちづくりを目指して「第2期神栖市スポーツ振興基本計画」の見直しを行います。

## 2. 国・県・市の動き

### (1) 国の動き

#### ●第3期スポーツ基本計画

スポーツ基本計画は、「スポーツ基本法」第9条第1項の規定に基づき策定され、文部科学大臣がスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定めるものであり、第3期スポーツ基本計画は令和4年度から令和8年度の5年間を計画期間として策定しています。当該計画では、東京オリンピック・パラリンピック2020の開催や、少子高齢化・ライフスタイルの変化等の社会環境の変化を受け、計画策定に向けた新たな視点を設けています。

#### ◆スポーツ基本法（抜粋）平成23年制定

(地方スポーツ推進計画)

第十条 都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十四条の二第一項の条例の定めるところによりその長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあっては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

#### ◆第3期スポーツ基本計画の新たな3つの視点

##### 1. 「つくる／はぐくむ」

既存の枠組みや考え方のみにとらわれず、社会情勢や状況等に応じて、不断に柔軟に見直し・改善し、最も適切・有効な、あるいは個々の状況等に応じた方法やルールを考え出し、創り出すような取り組みを促進・推進する。

- 多様な主体が参加できるスポーツの機会創出
- 自主性・自律性を促せるような指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成
- スポーツ界におけるDXの導入

##### 2. 「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場にある人々が、「ともに」活動し、「つながり」を感じながらスポーツを楽しめる社会の実現をめざし、機運を醸成する。また、スポーツの機会の提供や社会経済の活性化にあたり、様々な人々・組織が「あつまり」、「ともに」課題の解決等に取り組む。

- スポーツを通じた共生社会の実現
- スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力を通じた我が国のスポーツ体制の強化
- スポーツを通じた国際交流

### 3. 「誰もがアクセスできる」

誰もがスポーツに参画し、スポーツの価値を体感できるような社会を実現するために、その前提として、年齢や性別、障害、経済的事情、地域事情の差等によって、スポーツに取り組むことを諦めたり、途中で理不尽・非合理に離れないような社会の実現や機運の醸成を図る。

○地域において、住民の誰もが気軽にスポーツに楽しめる「場づくり」等の機会の提供

○アスリート育成パスウェイの構築及びスポーツ医・科学、情報等による支援の充実

○本人が望まない理由でスポーツを途中であきらめることがないような継続的なアクセスの確保

(資料：「第3期スポーツ基本計画」令和3年度)

#### ●障害者活躍推進プラン

平成31年4月に文部科学省から「障害者活躍推進プラン」の概要が示されました。これは、「共生社会」の実現に向けた取り組みを加速し、より積極的に障害者の活躍の場の拡大を図るため、学校教育、生涯学習、スポーツ、文化芸術の各分野において、以下のとおりより積極的に進めるべき6つの政策プランからなっており、令和2年7月には新たに「高等教育の学びの推進プラン」が7つめのプランとして追加されました。

その中で、政策5として「障害のある人のスポーツ活動を支援する」を掲げ、障害のある人がスポーツをする環境の整備や拠点の整備、スポーツ観戦のしやすさの向上を推進することとしています。

障害者活躍推進プラン プラン内容	政策1	障害のある人とともに働く環境を創る
	政策2	発達障害等のある子供達の学びを支える
	政策3	障害のある人の生涯にわたる多様な学びを応援する
	政策4	障害のある人の文化芸術活動を支援する
	政策5	障害のある人のスポーツ活動を支援する
	政策6	障害のある人が教師等として活躍することを推進する
	政策7	障害のある人の大学等の学びを支援する【新規】

#### 政策5 障害のある人のスポーツ活動を支援する ~障害者のスポーツ活動推進プラン~

障害者が身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを加速化

- ①小・中・高等学校に在籍する障害のある児童生徒のスポーツ実施環境の整備  
＜大学における障害者スポーツの指導者育成のカリキュラム導入の推進等＞
- ②障害のある人がスポーツを実施するための拠点の整備  
＜スポーツを試すために必要な要素をそろえた普及拠点の見える化＞
- ③スポーツイベントにおける障害者の観戦のしやすさの向上  
＜会場づくりや運営方法について好事例を収集＞

●学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

本ガイドラインは、「運動部活動の地域移行に関する検討会議（令和4年）」等の提言を踏まえ、令和4年12月に策定されました。

少子化が進む中、将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保と適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方について示すとともに、新たな地域クラブ活動を整備するための国の考え方を提示しています。

- I 学校部活動
- II 新たな地域クラブ活動
- III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備
- IV 大会等の在り方の見直し

(2) 県の動き

①第2次茨城県総合計画

令和4年度に、「第2次茨城県総合計画」（令和4年度～令和7年度）が策定されています。本計画では、基本理念に掲げる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて、新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るとともに、4つのチャレンジを示しています。

スポーツに関する取り組みは、産業や観光、学び・文化等の多岐にわたる政策において推進されています。

<施策と主な取り組み>

チャレンジ	政策	施策（主な取り組み）
I 新しい豊かさ	2 新産業育成と中小企業等の成長	施策1 先端技術を取り入れた新産業の育成と新しい産業集積づくり (eスポーツ等のクリエイティブ産業との連携強化)
	4 ビジット茨城～新観光創生～	施策1 稼げる観光地域の創出 (スポーツ体験等の自然を活かした魅力ある観光づくり)
II 新しい安心安全	8 障害のある人も暮らしやすい社会	施策1 障害者の自立と社会参加の促進 (障害者スポーツイベントの開催や障害児・者による文化活動を発表する機会の創出)
III 新しい人財育成	11 次世代を担う「人財」	施策1 「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進 (健やかな体を育むため、運動やスポーツ活動に親しむこと等を推進)
	14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城	施策2 スポーツの振興と遊びのある生活スタイル (国内外で活躍するトップアスリートの発掘・育成・強化 プロスポーツクラブや関係団体等と連携した地域イベントの開催推進 地域スポーツにおける指導者の資質向上・総合型地域スポーツクラブ等の活性化支援 スポーツや余暇を楽しむことができる都市公園の魅力向上)

		地域資源のスポーツ等を活かした大規模な大会、イベント、お祭り等の開催、実施環境の整備を通し、遊びある楽しい生活スタイルの創出)
IV 新しい夢・希望	18 若者を惹きつけるまちづくり	施策2 若者を呼び込む茨城づくり (スポーツや余暇を楽しむことができる都市公園の魅力向上 地域資源のスポーツ等を活かした大規模な大会、イベント、お祭り等の開催、実施環境の整備を通し、遊びある楽しい生活スタイルの創出))
	20 活力を生むインフラと住み続けたいまち	施策2 人にやさしい、魅力あるまちづくり (プロスポーツクラブ等との連携や、若手アーティストの招へい等、スポーツや芸術を活用した取り組みの推進)

(出典：第2次茨城県総合計画 令和4年度)

## ②茨城県「部活動の運営方針」

県では令和元年に、国の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を踏まえ、「県部活動の運営方針」を策定し、休養日・活動時間の設定や生徒の多様なニーズを踏まえた活動環境の整備の取り組みを開始しています。

令和4年12月の改定において、国の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」や県の「茨城県県立学校の働き方改革のためのガイドライン」を踏まえ、令和7年度末までに中学校における休日の学校部活動の指導に携わる教員をゼロにすることを目標に掲げ、地域移行期における学校部活動についての方針を定めています。

本方針の狙いとする4つの柱として、「適切な休養を確保するための活動時間管理の徹底」・「適切な運営のための体制整備」・「生徒の多様なニーズを踏まえた活動環境の整備」・「学校の働き方改革を踏まえた運営体制の構築」が示されています。

### (3) 市の動き

#### ①第3次神栖市総合計画

神栖市の最上位計画である「第3次神栖市総合計画（令和5年度～8年度）～魅力ある誇れる神栖市を目指して～」は、これまでのまちづくりの蓄積と豊富な地域資源を活かしながら、将来を見据えた持続可能なまちの発展を目指して、その実現に向けてのまちづくり推進のための指針として策定されました。

本計画の施策として、スポーツツーリズムの推進や公園利用者の安全・安心の確保、生涯健康スポーツの振興、スポーツ・レクリエーションによるまちの活力づくりの推進が示されています。

#### <第3次神栖市総合計画内のスポーツ・レクリエーション関連施策>

[施策大綱] 基本構想	<分野別計画> 施策	主な取り組み
[産業] 地域の強みを活かした産業・観光を育てる	<観光> スポーツツーリズムの推進	① スポーツ合宿の促進 ② スポーツイベントの充実 ③ 滞在型や通年型の観光の展開
[都市基盤] 良好な居住環境を整える	<公園・緑地> 公園利用者の安全・安心の確保	① 都市公園等の維持管理の充実と機能強化
[教育・文化] 生涯にわたり学び続ける環境を整える	<スポーツ・レクリエーション> 生涯健康スポーツの振興	① 健康づくりスポーツの普及
	<スポーツ・レクリエーション> スポーツ・レクリエーションによるまちの活力づくりの推進	① スポーツ・レクリエーション活動の活発化 ② 関連団体への支援 ③ 指導人材の確保・育成の促進 ④ スポーツ・レクリエーション関連施設の充実、活用促進

(出典：第3次神栖市総合計画 令和5年度)

## ②神栖市地域クラブ活動移行推進計画

全国的に少子化が進む中、学校部活動の持続可能な運営がますます厳しくなる状況となっています。また、部活動指導においては学校の働き方改革が進む中において専門性や指導意思のない教員が顧問を務める従来の指導体制の是正を図ることが求められています。

本市では、生徒・教員にとって望ましい部活動とするため、また、子どもたちが将来にわたり、継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる機会の確保や、地域全体で多世代も含めた持続可能で多様な活動等の環境改善につなげ、その振興を図ることを目的に、地域クラブ活動への移行を進めています。

本計画では、本市の地域クラブ活動における指導・運営体制を構築するため、以下に示す4つの要素についてそれぞれ取り組みを整理するとともに、令和7年度までのロードマップを整理しています。

### <本計画を構築する主な要素>

移行計画・運営体制	指導者の在り方
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備</li> <li>✓ スポーツ少年団やスポーツ協会、プロスポーツチームや民間事業者等との連携</li> <li>✓ 生徒のニーズにあった多様なスポーツ・文化芸術活動の環境の整備</li> <li>✓ 活動場所の確保及び学校体育施設の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域クラブ指導者に必要な要素</li> <li>✓ 指導者研修の内容</li> <li>✓ 教員の兼職兼業の可能性</li> </ul>
地域クラブの認証・評価制度	財源の確保(企業連携/受益者負担)
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域クラブ活動の数の精査</li> <li>✓ ガイドライン遵守事項</li> <li>✓ 地域クラブの認証に必要な事項</li> <li>✓ 評価基準の制定</li> <li>✓ 運営・活動の点検事項</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業協賛型・アクティベーション</li> <li>✓ 学校体育施設の指定管理(収益化)</li> <li>✓ 受益者負担の適正な価格検討</li> </ul>

(出典：神栖市地域クラブ活動移行推進計画 令和5年度)

## ③神栖市運動施設等長寿命化計画

神栖市が保有する運動施設の中長期的な維持管理費等を把握するとともに、事後保全から計画的な予防保全に転換を図るための目標使用年数や改修・更新周期等を具体的に定めています。

運動施設整備の課題として、施設の老朽化や劣化を踏まえた機能の充実や維持修繕費等の財政負担増大への対応のほか、近年のスポーツツーリズムの推進に向けた取り組み機運が高まっていることから、多様化する利用者ニーズも踏まえたストックの適正化が挙げられています。

#### ④神栖市体育施設のリニューアルや施設の整備による活性化方策に関する調査研究

市内公共スポーツ施設を一体的にとらえ、既存施設の整備・リニューアルとその有効活用によるスポーツ振興を図るとともに、「スポーツタウン神栖」の実現に寄与することを目的に、公共スポーツ施設の整備・活用の検討がなされています。

施設のリニューアル整備として、『「観る」なら神栖・「する」なら神栖・「続ける」なら神栖』の3モデルを掲げ、「合宿誘致の推進」、「にぎわい拠点の創出」、「意識・行動の変容」の3点から、施設の利活用と地域活性化について示しています。



(出典：神栖市体育施設のリニューアルや施設の整備による活性化方策に関する調査研究 令和2年度)

#### ⑤体育施設整備事業基本計画

本市では小学校及び中学校プールの老朽化が深刻であり、維持管理・修繕費も課題であったことから、令和元年度、学校プールの効果的かつ効率的なあり方を検討する、「神栖市学校プール管理基本構想」がとりまとめられました。地域の小学校・中学校の水泳授業の公営温水プールへの集約化を目的に、公営プールの整備・検討が進められています。



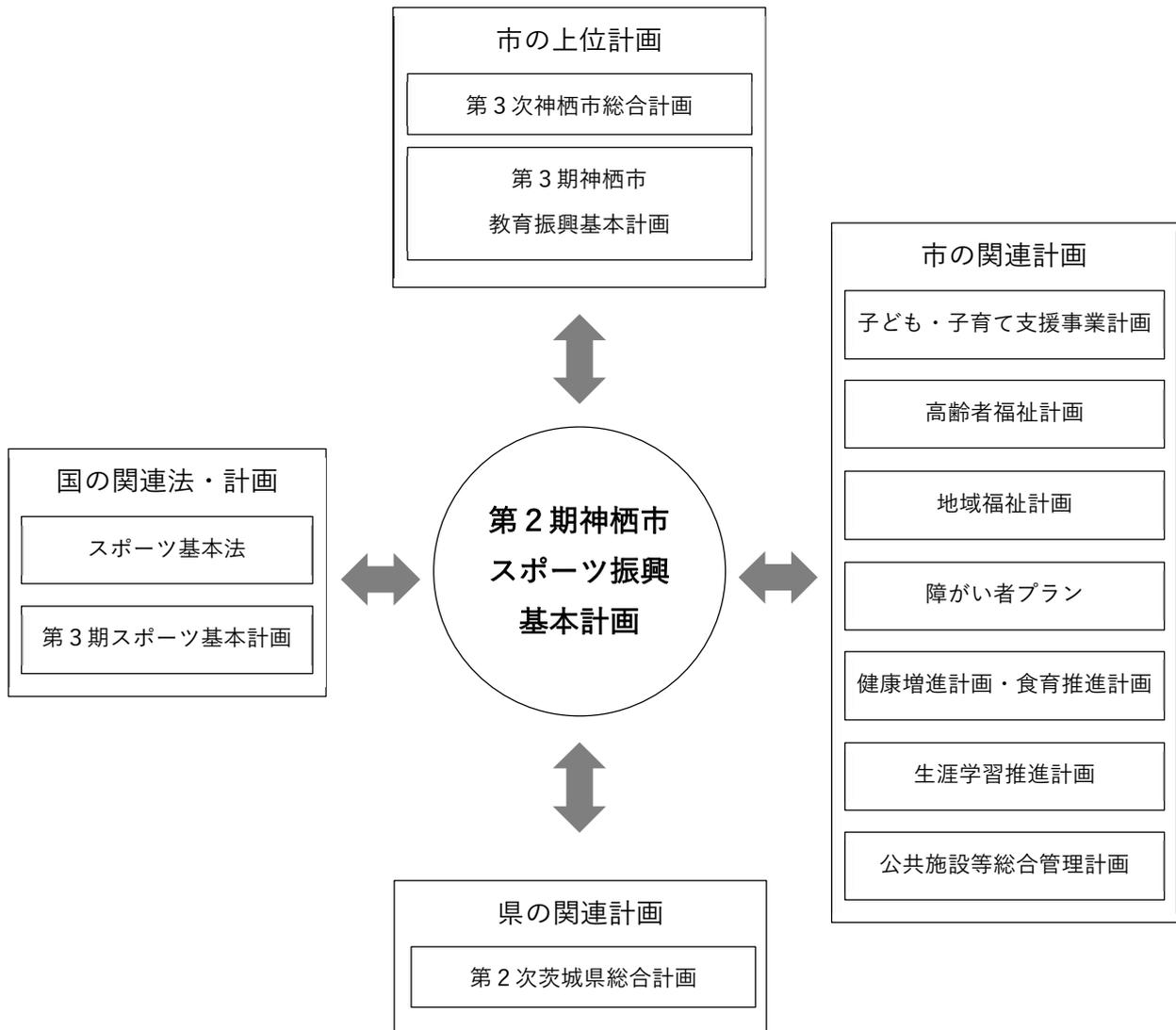
(出典：はさきマリンプールホームページ)

### 3. 計画の概要

#### (1) 計画の位置づけ

本計画は、本市の最上位計画である「第3次神栖市総合計画」及び「第3期神栖市教育振興基本計画」や他の関連計画との整合性を図るとともに、平成23年6月に制定された「スポーツ基本法」並びに国の「第3期スポーツ基本計画」(令和4年3月策定)等の趣旨を踏まえ、本市のスポーツ振興や方向性、取り組み内容を計画的に推進するための指針を示すものです。

〈上位計画・関連計画との関係図〉



(2) 計画期間

本計画は、令和2年度を初年度とし、令和11年度までの10年間を計画期間とします。また、中間年度に当たる令和6年度に見直しを実施いたしました。

〈計画の期間〉

平成										令和										
22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
年度									年度											
神栖市スポーツ振興 基本計画 (H22-26)					神栖市スポーツ振興 基本計画(後期計画) (H27-R元)															
										第2期神栖市スポーツ 振興基本計画 (R2-6)					第2期神栖市スポーツ 振興基本計画 (後期計画) (R7-11)					

写真

## 第2章 第2期神栖市スポーツ振興基本計画の施策中間評価

### 1. 第2期神栖市スポーツ振興基本計画（前期計画）の各施策別実施状況

第2期神栖市スポーツ振興基本計画では、5つの「基本目標」に対して、各基本目標を達成するために13の「施策目標」と29の「具合的な取り組み」を設定しました。

ここでは、中間見直し（令和6年度）まで各担当課において取り組んできた「具合的な取り組み」の実施状況や今後の課題について令和5年度実績を基にまとめています。

#### （1）基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進

##### ◆施策目標1-1 児童・生徒のスポーツ活動の推進

新たに整備された施設を利用した教室や講習会、大会を実施する等、スポーツ活動を推進しています。また中学校部活動においては、今までの部活動支援とともに地域クラブ活動の推進に向けた運営体制の構築等を進めています。今後も、児童・生徒の多様なニーズに応じた効果的な支援が求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①スポーツ教室・講習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教室・講習会等（神栖市文化・スポーツ振興公社） 事業数：11事業（児童・生徒のみ対象） 参加人数：279人</li> <li>○教室・講習会等（かみす防災アリーナ） 子供向け定期教室：41教室 参加人数：8,216人</li> <li>○教室・講習会等（はさきマリンプール） 教室プログラム（通年）：26教室 参加人数：104人</li> </ul>
②スポーツ大会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○競技会および大会（神栖市文化・スポーツ振興公社） 8大会実施（児童・生徒のみ対象） 参加人数：1,944人</li> <li>○神栖市スポーツレクリエーション祭2023 令和5年9月30日～10月15日、10月29日の17日間開催。 各イベント・体験教室等43事業実施。 参加人数：5,022人（児童・生徒以外含む）</li> <li>○SOMPO ボールゲームフェスタ 令和6年2月24日開催 参加人数：250人（保護者含む）</li> <li>○かみすふれあいランニング大会（親子の部・中学生の部） 参加人数：110人</li> </ul>

<p>③中学校部活動等への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種大会交通費等補助市内8中学校分</li> <li>○中学校の部活動における部活動指導員の配置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8人の部活動指導員配置を想定</li> <li>・5校7人の部活動指導員を配置</li> <li>・指導員1人につき年210時間以内の報酬については県・国が1/3ずつ負担。</li> </ul> </li> <li>○神栖市運動部活動指導者研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年7月10日、8月1日、8月7日の3回実施</li> </ul> </li> <li>○神栖市地域クラブ活動移行推進計画の策定・推進</li> </ul>
---------------------	---

◆施策目標1-2 成人のスポーツ活動の推進

大会や競技会、健康教室の実施を通して、成人のスポーツ活動を推進しています。また、神栖市スポーツレクリエーション祭を17日間にわたり開催し、児童・生徒を含む約5,000人が参加しています。参加者の新たなニーズを把握し、実施することが求められています。

具体的な取り組み	施策の実施状況
<p>①スポーツ大会や競技会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○競技会および大会（神栖市文化・スポーツ振興公社） 13大会 実施 参加人数：1,889人</li> <li>○競技会および大会（かみす防災アリーナ） 65大会 実施</li> <li>○神栖市スポーツレクリエーション祭2023 令和5年9月30日～10月15日、10月29日の17日間開催。 各イベント・体験教室等43事業実施 参加人数：5,022人</li> <li>○かみすふれあいランニング大会（一般男女） 参加人数：323人</li> </ul>
<p>②スポーツ健康教室等の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教室・講習会等（神栖市文化・スポーツ振興公社） 事業数：31事業 参加人数：1,503人</li> <li>○教室・講習会等（かみす防災アリーナ） 大人向け定期教室：43教室 参加人数：4,434人</li> <li>○教室・講習会等（はさきマリンプール） 教室プログラム（通年）：49教室 参加人数：238人</li> </ul>
<p>③運動習慣導入支援の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フレイル予防教室 参加人数：18人 ・脳トレとして、頭混乱ジャンケンや全身でのジャンケンを声を出しながら実施。また、トレーニングチューブを使用した運動を実施。ストレッチで全身をほぐしてから、二の腕や肩甲骨まわり、太もも等、部分ごとに筋力・柔軟性を高める運動を行った。</li> </ul>
<p>④ニュースポーツ等の普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神栖市スポーツレクリエーション祭2023 種目：軽スポーツ体験、かみすワクワク大運動会、レクリエーションゲーム体験等</li> </ul>

	令和5年9月30日～10月15日、10月29日の17日間開催。
--	---------------------------------

◆施策目標1-3 障がいのある人のスポーツ活動の推進

スポーツイベントにおける多様な種目の実施とともに、参画を促進しています。大会の実施にあたり、参加者や参加者を支えるサポーターの拡大に向けた広報活動等の検討が求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①スポーツイベントへの支援	○茨城県障害者スポーツ大会 ・令和5年5月14日フライングディスク 参加人数：5人 ・令和5年5月20日陸上競技・卓球 参加人数：1人 ・令和5年5月27日水泳 参加人数：2人
	○鹿行地区身体障害者スポーツ大会（行方市開催）

◆施策目標1-4 高齢者のスポーツ活動の推進

高齢者の生きがいづくりを図る教室・レクリエーション等の開催や活動支援を行っています。近年では、参加者の高齢化や高齢者の意識の変化等により、シニアクラブ数、会員数は減少傾向で、各大会等への参加者数も減少しています。今後は、参加しやすい環境づくりや広報周知への取り組みが求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①教室・レクリエーション等の開催	○スポーツ講座等の開催 ・高齢者生きがい講座 講座名：ヨーガ、フラダンス、社交ダンス、太極拳、ダーツ、健康吹き矢 会場：保健福祉会館、はさき福祉センター 実施回数：各講座20回 参加人数：312人（神栖）、166人（波崎） ・かみず健康スポーツまつり 開催日：令和5年11月11日 会場：神之池陸上競技場 参加人数：603人
	○【高齢者生きがい対策事業費補助金】 在宅高齢者の生きがいを高め、福祉の増進を図るため、神栖市シニアクラブ連合会が行う生きがい対策事業に対し、補助金を交付する。 ・囲碁将棋大会 参加人数：16人 補助額：9,600円(基準額600円×参加人数) ・シニアクラブ対抗輪投げ大会、歩け歩け大会、

	シニアクラブ対抗グラウンド・ゴルフ大会 参加人数：1,022人 補助額：各100,000円(基準額100,000円) ・芸能発表及び作品展 参加人数：417人 補助額：708,000円(基準額800,000円。ただし、実績額が800,000円未満の場合は、実績額を基準額とみなす。)
--	--

◆施策目標1-5 スポーツ少年団の育成

指導者の育成に向けた養成講習会の周知を行うとともに、スポーツ少年団活動を推進するための学校体育施設の開放等の支援を行っています。今後も、スポーツ指導者やスポーツ少年団の団員確保に向けた広報活動や財政的支援の継続が求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①スポーツ少年団指導者の育成・確保の支援	○スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会について周知(3~5年に1回開催) ・行方市開催 参加人数：30人 ・つくば市開催 参加人数：1人 ・水戸市開催 参加人数：6人
②スポーツ少年団活動への支援	○スポーツ団体事業費補助金の交付 スポーツ少年団：2,027,000円 ○学校体育施設の開放

(2) 基本目標2 スポーツ施設の整備・充実

◆施策目標2-1 スポーツ施設の整備・充実

本市のスポーツ中核施設として、はさきマリンプールが整備されました。また、市内のスポーツ施設の老朽化に伴い、施設改修を進めています。引き続き計画的な改修を進めるとともに施設利用者や市民のニーズを把握し、適切な施設管理・運営の検討が求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①スポーツ中核施設の整備・充実	○はさきマリンプールの新設
②既存スポーツ施設の整備・充実	○既存施設の計画的な改修工事および設計業務 【改修工事】 土合運動広場防球ネット設置工事 土合体育館消火栓ポンプ改修工事 海浜球場トイレ改修工事
③スポーツ活動のための環境の整備	海浜球場駐車場前トイレ改修工事 波崎体育館高圧進相コンデンサ更新工事 土合体育館高圧進相コンデンサ更新工事 土合体育館消火水槽補給水配管修繕工事 【計画】 神栖市海浜運動公園改修基本計画
④スポーツ施設の効果的な運用	○神栖市矢田部サッカー場 指定管理者：神栖市観光協会 利用人数：58,006人 ○かみす防災アリーナ 指定管理者：神栖防災アリーナ PFI 株式会社 利用人数：265,558人 ○はさきマリンプール 指定管理者：株式会社フクシ・エンタープライズ 利用人数：41,891人 ○その他の市内運動施設 28施設 指定管理者：(公財)神栖市文化・スポーツ振興公社 利用人数：311,029人(レンタサイクル含む)

◆施策目標 2 - 2 スポーツ活動の場の提供

学校施設や各地域のコミュニティセンターの利用を周知し、市民のスポーツ活動の場として提供し、多くの方に実際に利用されています。今後は、施設の老朽化に伴う計画的な改修等の検討が求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①学校施設の利用の推進	○学校開放事業 開放学校：22校(小：14、中：8) 利用団体数：117団体 延べ利用者数：49,177人
②身近な施設での場の確保	○市内5館のコミュニティセンター(大野原、うずも、平泉、波崎東、矢田部)で、施設の貸し出しを行っている。また、市ホームページ及びパンフレット等で施設利用に係る周知を実施している。 令和5年度スポーツ関連施設利用件数：7,919件 令和5年度スポーツ関連施設延べ利用者数：67,415人

(3) 基本目標 3 スポーツ推進体制の整備

◆施策目標 3 - 1 総合型地域スポーツクラブの育成

クラブの運営支援や啓発活動を促進してきました。今後も取り組みを継続して行い、「かみすスポーツクラブ」の活動の充実を図ることが求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①「かみすスポーツクラブ」の運営支援	○かみすスポーツクラブの運営に係る財政的支援 ・スポーツ団体事業費補助金の交付 かみすスポーツクラブ：350,000円
②市民への啓発活動の促進	○かみすスポーツクラブでは、毎月会報を発行し、クラブの活動内容やスケジュールを周知し、市ホームページに掲載しています。

◆施策目標 3-2 スポーツ指導者の育成・確保

スポーツ活動を支える指導者やボランティアの育成・確保を図るため、研修やイベント等の情報提供を行いました。スポーツの専門知識を持った人材の登録や依頼が少ない状況であるため、登録者と利用者の増加に向けた市民活動人材バンクの周知方法等の検討が求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①スポーツ指導者の発掘・育成	○スポーツ推進委員活動 ・総会、協議会等 ・スポーツレクリエーション祭 2023 におけるイベント実施 ・かみす健康スポーツまつり運営支援 ・かみすふれあいランニング大会運営支援 ・全国スポーツ推進委員研究協議会 参加人数：9人
②スポーツ指導者研修の充実	○スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会について各団体へ周知(3~5年に1回開催) ・行方市開催 参加人数：30人 ・つくば市開催 参加人数：1人 ・水戸市開催 参加人数：6人
③スポーツボランティアの確保と活動の促進	○市民活動支援センターにおいて、市内20箇所の公共施設等に設置する「市民活動情報掲示板」へ、市民活動団体の活動情報を定期的に掲示するほか、市ホームページ、ツイッターにて情報発信を行った。 ・本市のさまざまな事業等におけるボランティア募集情報のとりまとめを行い、市ホームページに掲載し、市民に対する情報提供を行った。
④スポーツの専門知識を持った人材活用	○市ホームページや、生涯学習情報誌「まなびアイかみす」へ市民活動人材バンクの登録者情報を掲載し、周知を行った。 スポーツの専門知識を持った人材バンク登録団体(者)：5団体(人) 令和5年度依頼件数：2件(スポーツ吹矢・エアロビクス)

◆施策目標 3-3 スポーツ関係団体との連携強化

地域プロスポーツチームとの協定締結や市内での試合開催等、スポーツ関係団体との連携を強化してきました。引き続き市民のスポーツへの関心を高め、スポーツ振興や地域活性化につながる取り組みが求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①スポーツ団体への支援	○スポーツ団体への補助金交付 スポーツ協会：4,161,000円 スポーツ少年団：2,027,000円 かみすスポーツクラブ：350,000円
②鹿島アントラーズ、茨城ロボッツ及び茨城アストロプラネッツ	○マザータウン協定を締結している茨城ロボッツの公式戦を市内で開催

との連携	来場者へ神栖市観光パンフレット等を配布 ・茨城ロボッツ神栖開催試合 開催日：令和6年1月27日 来場者数：3,156人 1月28日 来場者数：3,188人
	○鹿島アントラーズとの連携 ・ホームタウンデイズ「神栖の日」の実施 ・国立競技場で行われた鹿島アントラーズホームゲームにてホームタウンPRブースを出展（アントラーズホームタウン協議会） ・小学校招待観戦 ・本山氏引退試合でのPR活動
	○茨城アストロプラネッツとの連携 開催日：令和5年7月16日 栃木ゴールデンブレーブス戦（牛久運動公園野球場）に神栖市に在住・在勤・在学している方を対象に無料招待実施。

◆施策目標3-4 スポーツに関する情報体制の充実

スポーツ情報を様々な媒体により発信しています。情報発信の内容や手段、タイミングの検討が求められています。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①スポーツ情報の効果的な提供	○広報紙・市ホームページ・メルマガ・SNSを活用し、情報提供を行った。
	○イベントや大会等の他、スポーツ推進に関する事業について、広報紙や市ホームページ等を活用し、情報提供を行っている。
	○生涯学習情報誌「まなびアイかみす」や広報紙においてスポーツ情報を市民に提供している。

(4) 基本目標4 競技力向上対策の推進

◆施策目標4-1 競技力向上のための支援体制の充実

競技力の向上に向けて、引き続き財政的支援を図り、スポーツ環境の整備に取り組んできています。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①競技力向上の支援	○スポーツ大会出場報奨金 交付件数：125件 交付人数：206人

(5) 基本目標5 スポーツによるまちの活力づくりの推進

◆施策目標5-1 地域経済を潤すスポーツイベント事業等の促進

地域のスポーツ活動を積極的に周知するとともに、プロスポーツの試合開催や大会誘致等に取り組み、スポーツツーリズムの強化を図っています。今後も取り組みを継続するとともに、スポーツ合宿地としての知名度向上を通じた、スポーツ振興や地域活性化が求められます。

具体的な取り組み	施策の実施状況
①スポーツイベント事業等の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「文化・スポーツニュース」(年4回発行)で広報</li> <li>○スポーツボランティア登録者数:12人</li> <li>○プロスポーツの試合開催 開催日:令和6年1月27日・28日 茨城ロボッツ対広島ドラゴンフライズをかみす防災アリーナで開催</li> </ul>
②スポーツ合宿等の情報発信の強化(スポーツツーリズムの推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市ホームページの充実</li> <li>○インフルエンサーのYouTubeチャンネルを活用したPR</li> <li>○競技団体、旅行代理店等のスポーツ大会主催者へのプロモーション</li> <li>○スポーツ各種の大会誘致</li> <li>○インバウンドスポーツ合宿及び大会誘致</li> <li>○インターネット及びスポーツマガジンを活用した広告</li> <li>○スポーツツーリズム EXPO 出展</li> <li>○スポーツツーリズム推進協議会</li> <li>○トップスポーツ合宿及び新規大会開催に係る助成</li> </ul>



### 第3章 本市におけるスポーツ環境について

#### 1. スポーツ施設の整備状況

本市では、体育館、温水プール等の屋内施設や、サッカー場や野球場、庭球場等の屋外施設等、市民が身近でスポーツができる環境を整備してきました。

令和元年6月に「かみす防災アリーナ」、令和5年6月に「はさきマリンプール」の開館に伴い、日常的な各種スポーツ活動をはじめ、温水プールやトレーニング室、さらには大規模大会やイベント開催等、市内外問わず多くの方々に利用されています。

一方で、市内スポーツ関連施設の半数以上は、建設後30年以上が経過しており、整備充実に向けて課題が残ります。特に、屋内施設の老朽化が著しいため、神栖市運動施設等長寿命化計画に基づいて順次整備を行っています。さらに、施設の管理運営については、指定管理者制度及びPFI制度\*を導入し、業務の効率化を図っています。

市内に設置されている主要なスポーツ関連施設とスポーツ施設の配置状況は次頁のとおりです。

※PFI制度：民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法

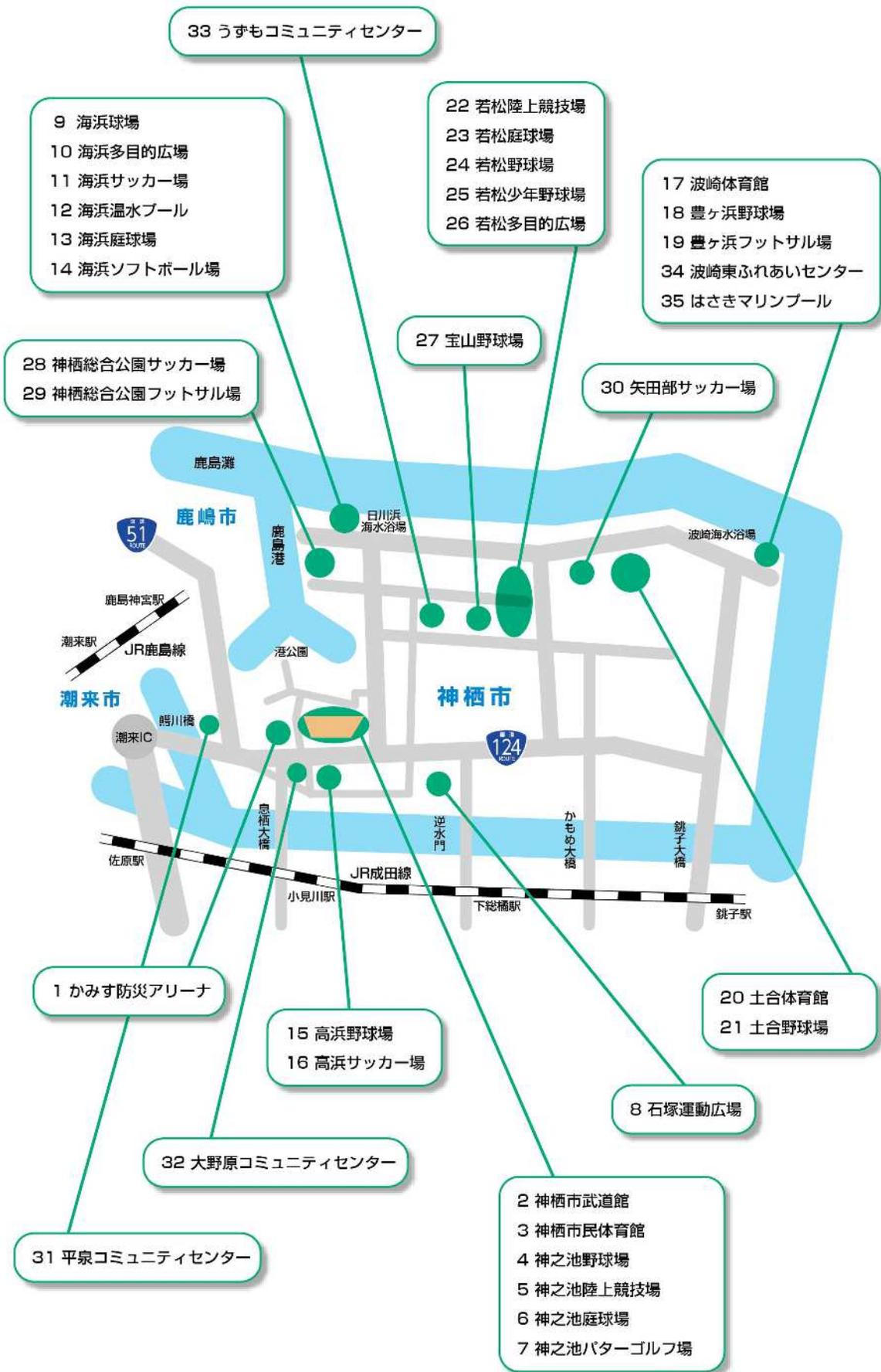


写真

〈神栖市スポーツ関連施設一覧〉

区分	設備施設		建設年	武道場	弓場	アリーナ・多目的ホール	多目的広場	トレーニング室	屋内プール	陸上競技場	野球場	ソフトボール場・少年野球場	サッカー場	フットサル場	ラグビー場	テニスコート	パターゴルフ場	レンタサイクル	ゲートボール場	
	名称																			
文化スポーツ課所管施設	1	かみす防災アリーナ	R.1			2		1	1											
	2	はさきマリンプール	R.5					1	1											
	3	神栖市武道館	S.62	1	1			1											1	
	4	神栖市民体育館	S.48			1														
	5	神之池野球場	S.48								1									
	6	神之池陸上競技場	S.48							1										
	7	神之池庭球場	S.48													1 (6面)				
	8	神之池パターゴルフ場	H.2														1			
	9	石塚運動広場	S.55								1 (2面)	1 (4面)	1 (2面)							
	10	海浜球場	S.60								1									
	11	海浜多目的広場	S.60									1 (4面)	1 (2面)		1					1
	12	海浜サッカー場	H.8										1 (2面)							
	13	海浜温水プール	H.7						1											
	14	海浜庭球場	H.11													1 (24面)				
	15	海浜ソフトボール場	S.63									1								
	16	高浜野球場	H.8									1								
	17	高浜サッカー場	H.9										1							
	18	波崎体育館	S.58	1	1	1		1												
	19	豊ヶ浜野球場	S.51								1									
	20	豊ヶ浜フットサル場	H.26											1						
	21	土合体育館	S.49	1		1		1												
	22	土合野球場	S.49								1									
	23	若松陸上競技場	H.11							1			1							
	24	若松庭球場	H.21													1 (2面)				
	25	若松野球場	S.52								1									
	26	若松少年野球場	S.55									1								
	27	若松多目的広場	S.52										1							
	28	宝山野球場	S.56								1									
	29	神栖総合公園サッカー場	H.21										1 (2面)							
	30	神栖総合公園フットサル場	H.23											1 (3面)						
	31	矢田部サッカー場	H.18										1 (4面)							
	32	平泉コミュニティセンター	H.13			1		1												
	33	大野原コミュニティセンター	S.63			1	1													
	34	うずもコミュニティセンター	H.2			1														
	35	波崎東ふれあいセンター	S.47			1	1	1												
合計				3	2	9	2	7	3	2	7 (8面)	5 (11面)	8 (15面)	2 (4面)	1	3 (32面)	1	1	1	

〈市内のスポーツ施設配置図〉



## 2. スポーツ指導者の育成

青少年の健全育成やスポーツの普及には、スポーツ指導者が必要です。スポーツ推進委員やスポーツ協会、各種団体等と連携し、指導者の育成を図ります。

### ◆スポーツ推進委員数（令和6年度）

委員数（人）	男性（人）	女性（人）
27	20	7

### ◆スポーツ協会加盟団体（令和6年度）

スポーツ協会加盟団体名		
剣道連盟	バスケットボール連盟	ソフトボール連盟
軟式野球連盟	バドミントン協会	スキークラブ
柔道連盟	アマチュアゴルフ連盟	グラウンド・ゴルフ協会
ソフトテニス連盟	硬式野球連盟	ソフトバレーボール連盟
卓球協会	少林寺拳法協会	空手道連盟
硬式庭球連盟	サッカー協会	陸上競技協会
弓道連盟	レクリエーション部	スポーツ少年団本部
バレーボール連盟	クレール射撃協会	
水泳協会	ラグビーフットボール協会	

## 3. スポーツ推進等に向けての支援状況

市民やスポーツ団体等のスポーツ推進を図るため、各種スポーツ振興を支援する補助やスポーツ指導者の養成事業を行っています。また、関東及び全国大会、さらには世界大会に出場する選手等に助成等を実施しています。現在の実施状況は以下のとおりです。

### ◆支援事業等（令和6年度）

事業名	概要
神栖市スポーツ協会等事業補助	市民及びスポーツ団体等の活動支援を図り、スポーツの振興に寄与する。
神栖市スポーツ指導者の育成	国・県が実施する講習会・研修会等への参加を奨励し、指導者の育成に努める。
神栖市スポーツ大会出場報奨金交付	市民のスポーツの推進及び競技力の向上を図るため、全国規模等のアマチュアスポーツ大会に出場する個人又は団体に対して交付する。
神栖市中学校教育振興補助金交付	中学生の部活動の充実を図るため、全国規模等の大会に伴う交通費等の個人負担を補助する。

神栖市スポーツツーリズム等推進助成金	スポーツツーリズムの推進のため、市内の旅館等での宿泊を伴う新規大会の開催やトップレベル団体等の合宿に係る経費の一部に対して、助成金を交付します。
--------------------	--

#### 4. スポーツ大会等の開催状況

多くのスポーツ大会が行われ、大勢の方が参加しています。令和元年6月には「かみす防災アリーナ」が開館したことにより、従来以上の大規模な各種大会が開催できるようになりました。令和6年度は、男子プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）、女子プロバスケットボールリーグ（Wリーグ）の開催地として公式戦を実施し、各種競技のハイレベルなパフォーマンスを間近で観戦できる機会が増えています。

「かみす防災アリーナ」指定管理者：神栖防災アリーナPFI株式会社

##### ◆主なスポーツ大会等の開催状況（令和6年度）

No.	日付	主な会場	利用内容
1	4月19～20日	メインアリーナ	令和6年度関東高校卓球大会県東地区大会
2	4月21日	メインアリーナ	令和6年度関東高等学校男女バレーボール大会県東地区大会
3	5月3日	メインアリーナ	第8回神栖ライオンズクラブ旗神栖市内中学校女子バレーボール大会
4	5月4・5日	メインアリーナ	第38回神栖市近隣バスケットボール大会
5	5月6日	メインアリーナ	令和6年度 第71回関東高等学校剣道大会茨城県予選会
6	5月11日	メインアリーナ	第48回神栖市春季卓球大会
7	5月22～23日	メインアリーナ	令和6年度全国高校総体卓球県東地区予選会
8	5月25日	メインアリーナ	令和6年度全国高校総体男女バレーボール大会県東地区予選会
9	6月1・2日	メインアリーナ	令和6年度全国高校総合体育大会バスケットボール県東地区大会
10	6月8日	メインアリーナ	第42回神栖杯中学校女子バレーボール大会
11	6月14～16日	メインアリーナ	令和6年度 全国高校総体卓球茨城県予選会
12	6月22日	メインアリーナ	Kamisu 3×3 Champions Cup 2024
13	6月23日	メインアリーナ	新日本プロレス 神栖大会
14	6月30日	メインアリーナ	令和6年度 県東地区空手道選手権大会
15	7月1～3日	メインアリーナ	令和6年度 中学生総合体育大会県東地区予選会 卓球の部
16	7月4～6日	メインアリーナ	令和6年度 中学生総合体育大会県東地区予選会 バスケットボールの部
17	7月7日	メインアリーナ	第18回神栖市ソフトバレーボール交流大会
18	7月14日	メインアリーナ	第17回神栖市ママさん招待親善バレーボール大会
19	7月27・28日	メインアリーナ	令和6年度神栖交流会男子の部
20	7月29・30日	メインアリーナ	かみす月刊バスケットボールフェスタ 2024 U-12
21	7月31日～ 8月2日	メインアリーナ	かみす月刊バスケットボールフェスタ 2024 U-15
22	8月3日	メインアリーナ	第47回港まつり卓球大会
23	8月4日	メインアリーナ	令和6年度神栖交流会女子の部
24	8月5日	メインアリーナ	令和6年度県東地区卓球競技夏季大会
25	8月7～9日	メインアリーナ	第49回関東中学校剣道大会 茨城県大会
26	8月10・11日	メインアリーナ	第66回全国教職員剣道大会
27	8月14～16日	メインアリーナ	SHOW DOWN2024 (U-15 バスケット)
28	8月17・18日	メインアリーナ	令和6年度高体連バスケットボール県東地区夏季大会
29	8月25日	メインアリーナ	全日本卓球選手権大会ジュニアの部県東地区2次予選会
30	8月26・27日	メインアリーナ	令和6年度バドミントン県東地区夏季大会
31	8月31日～ 9月1日	メインアリーナ	令和6年度神栖市ミニバスケットボール秋季大会
32	9月8日	メインアリーナ	第18回一般男女混合バレーボール大会
33	9月21・23日	メインアリーナ他	2024年度 U15 選手権 (バスケット)
34	9月22日	メインアリーナ	令和6年度神栖市第17回かみす杯バドミントン大会
35	10月3日	メインアリーナ	令和6年度中学生新人体育大会県東地区予選会 卓球の部
36	10月5日	メインアリーナ他	神栖市スポーツレクリエーション祭り「かみすワクワク運動会」
37	10月6日	メインアリーナ他	神栖市スポーツレクリエーション祭り「アリーナ☆DE☆スポチャレ」
38	10月2日	メインアリーナ	新日本プロレス 神栖大会

39	10月13日	メインアリーナ他	茨城県U15 バasketボール選手権大会 兼 第5回全国 U15 バasketボール選手権大会(Jr.ウインターカップ)並びに 第13回U15クラブBasketボールゲームス(CBG)茨城県予選会
40	10月14日	メインアリーナ	令和6年度関東地区高体連卓球専門部新人戦(団体)
41	11月2・3日	メインアリーナ	全国高校選手権大会 県予選会(バスケ)[ウインターカップ2024]
42	11月2・3日	メインアリーナ	B1リーグ公式戦「茨城ロボッツ vs 京都ハンナリーズ」
43	11月4日	メインアリーナ	神栖市芸術祭ダンスパーティー
44	11月9日	メインアリーナ	障がい者スポーツ交流会
45	11月10日	メインアリーナ	2024年度神栖市フレッシュマン卓球大会
46	11月13日	メインアリーナ他	令和6年度第57回茨城県高等学校剣道勝ち抜き大会
47	11月23・24日	メインアリーナ	第52回神栖杯中学校Basketボール大会
48	12月1日	メインアリーナ他	第53回神栖市菊祭り剣道大会
49	12月26・27日	メインアリーナ他	かみす月刊Basketボールフェスタ 2024WINTER U-15

(令和6年12月末時点)

#### ◆スポーツ教室(子ども向け)開催状況(令和6年度)

No.	教室名	教室数	対象者	回数	定員数	参加数	会場	備考
1	キッズ体操	1	4歳～未就学児	35	60	24	サブアリーナ	
2	ジュニア体操	2	小学生	67	120	114	サブアリーナ	
3	キッズ運動克服	1	4歳～未就学児	29	45	19	スタジオ	
4	ジュニア運動克服	2	小学生	61	90	74	スタジオ	
5	キッズ鉄棒&跳び箱集中	1	4歳～未就学児	32	45	34	スタジオ	
6	ジュニア鉄棒&跳び箱集中	1	小学生	32	45	42	スタジオ	
7	キッズ新体操	1	5歳～未就学児	29	45	10	スタジオ	
8	ジュニア新体操	1	小学生	29	45	34	スタジオ	
9	キッズダンス	2	3歳～未就学児	69	135	63	サブアリーナ・スタジオ	
10	ジュニアダンス	2	小学生・中学生	66	120	113	スタジオ	
11	ジュニアダンス[低学年]	1	小学1年生～3年生	35	75	61	サブアリーナ	
12	ジュニアダンス[高学年]	1	小学4年生～中学生	35	75	35	サブアリーナ	
13	赤ちゃん親子ピクス	1	生後2か月～歩行開始前幼児とその保護者	34	10	2	研修室	
14	水慣れ	2	おむつの取れている3歳～未就学児	65	120	66	プール	
15	キッズ水泳	8	4歳～未就学児	269	480	324	プール	
16	ジュニア水泳	10	小学生・中学生	334	900	800	プール	
17	親子水泳	1	おむつの取れている3歳～未就学児	32	180	10	プール	
	合計	38		1,253	2,590	1,825		

(令和6年12月末時点)

#### ◆スポーツ教室(大人向け)開催状況(令和6年度)

No.	教室名	教室数	対象者	回数	定員数	参加数	会場	備考
1	卓球	2	一般男女	62	60	37	サブアリーナ	
2	太極拳	2	一般男女	60	120	51	サブアリーナ	
3	サッカー	1	一般男女	24	60	10	サブアリーナ	
4	気功	1	一般男女	15	15	3	サブアリーナ	
5	シェイプアタック	1	一般男女	35	60	41	サブアリーナ	
6	タヒチアンダンス	1	一般男女	36	50	19	スタジオ	
7	ピラティス	4	一般男女	130	210	181	スタジオ	
8	ヨガ	4	一般男女	139	180	74	スタジオ	
9	ダンス	1	一般男女	34	50	33	スタジオ	
10	ZUMBA	5	一般男女	154	250	148	スタジオ	
11	ENJOY エアロ	1	一般男女	36	50	19	スタジオ	
12	骨盤体操	1	一般男女	35	50	16	スタジオ	

13	ステップ FAN	2	一般男女	62	160	33	スタジオ	
14	バレトン	1	一般男女	34	50	45	スタジオ	
15	STRONG NATION	1	一般男女	35	50	41	スタジオ	
16	コアトレ	1	一般男女	29	50	40	スタジオ	
17	コアシェイプ	1	一般男女	35	60	36	スタジオ	
18	成人水泳	7	一般男女	228	210	143	プール	
19	アクアビクス	3	一般男女	87	180	58	プール	
20	水中運動	2	一般男女	68	90	40	プール	
	合計	42		1,338	2,005	1,068		

(令和 6 年 12 月末時点)

「市内運動施設等（かみす防災アリーナを除く）」

指定管理者：公益財団法人神栖市文化・スポーツ振興公社

株式会社フクシ・エンタープライズ

◆主なスポーツ大会等の開催状況（令和 6 年度）

No.	日付	主な会場	利用内容
1	5月19日	神栖市武道館	第45回神栖市弓道大会
2	5月31日・6月1日	高浜野球場他	第38回神栖杯県東地区高校野球夏季大会
3	6月9日	石塚運動広場	第49回神栖市男子ソフトボール大会
4	6月30日	神栖市武道館	第38回神栖杯少年柔道大会
5	6月27日・11月28日	神之池バタールゴルフ場	神栖市バタールゴルフ大会(春季、秋季)
6	8月3日	神栖海浜庭球場	第49回神栖杯中学生ソフトテニス大会
7	8月10日・8月24日	神栖海浜球場、神之池野球場	第46回神栖杯中学生新人野球大会
8	9月7日	神之池緑地	第23回市長杯グラウンド・ゴルフ大会
9	9月15・16日	神栖市民体育館	神栖3×3チャンピオンズカップ2024
10	10月20日～11月3日	若松野球場他	第37回総合野球大会
11	10月12日	神之池緑地	第13回いきいきウォーキング大会
12	11月3日	神栖海浜庭球場	神栖市民テニス大会
13	11月23・30日	神栖海浜サッカー場他	第44回神栖市長杯争奪中学生サッカー大会

(令和 6 年 12 月末時点)

◆スポーツ教室の開催状況（令和 6 年度）

No.	事業名	対象者	回数	定員数	参加数	会場
1	水中ウォーキング教室（前期）	市内在勤・在住の一般男女	全10回	30	29	神栖海浜温水プール
2	水中ウォーキング教室（後期）	市内在勤・在住の一般男女	全10回	30	28	神栖海浜温水プール
3	ピラティス教室（春季）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	20	20	神栖海浜温水プール
4	ピラティス教室（秋季）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	20	20	神栖海浜温水プール
5	ベビースイミング教室（春季）	市内在住の生後6ヶ月～3歳未満の子とその親	8	12組	10組	神栖海浜温水プール
6	ベビースイミング教室（秋季）	市内在住の生後6ヶ月～3歳未満の子とその親	8	12組	14組	神栖海浜温水プール
7	ヨガ教室 海浜（春季）	市内在住又は勤務の一般男女	全10回	20	20	神栖海浜温水プール
8	ヨガ教室 海浜（秋季）	市内在住又は勤務の一般男女	全10回	20	20	神栖海浜温水プ

						ール
9	子どもスポーツ教室（春季） 水遊び教室（小学生）	市内在住の小学1年生から小学2年生	全4回	26	26	神栖海浜温水プ ール
10	子どもスポーツ教室（秋季） 水遊び教室（小学生）	市内在住の小学1年生から小学2年生	全4回	26	26	神栖海浜温水プ ール
11	子どもスポーツ教室（春季） ちびっこ水遊び教室（幼児）	市内在住の5歳から6歳の幼児	2コース 各8回	24	23	神栖海浜温水プ ール
12	子どもスポーツ教室（秋季） ちびっこ水遊び教室（幼児）	市内在住の5歳から6歳の幼児	2コース 各8回	24	24	神栖海浜温水プ ール
13	ジュニア水泳教室（前半）	市内在住の小学3年生から小学6年生	全10回	30	28	神栖海浜温水プ ール
14	ジュニア水泳教室（後半）	市内在住の小学3年生から小学6年生	全10回	20	19	神栖海浜温水プ ール
15	アクアビクス教室（春季）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	20	20	神栖海浜温水プ ール
16	アクアビクス教室（秋季）	市内在勤・在住の高校生以上の一般男女	全10回	25	23	神栖海浜温水プ ール
17	ワンポイントアドバイス水泳教室	神栖海浜温水プール利用者	毎週木曜 日	—	102	神栖海浜温水プ ール
18	テニス教室（春季）	市内在住又は在勤の小学3年生から一般男女	全6回	50	42	神栖海浜庭球場
19	テニス教室（秋季）	市内在住又は在勤の小学3年生から一般男女	全6回	50	52	神栖海浜庭球場
20	ソフトテニス教室（前半）	市内在住又は在勤の小学3年生から一般男女	全6回	40	18	神栖海浜庭球場
21	ソフトテニス教室（後半）	市内在住又は在勤の小学3年生から一般男女	全6回	40	36	神栖海浜庭球場
22	子どもスポーツ教室（春季） 健康スポーツ教室（小学生）	市内在住の小学1年生から小学4年生	全10回	25	27	神栖市武道館
23	子どもスポーツ教室（秋季） 健康スポーツ教室（小学生）	市内在住の小学1年生から小学4年生	全10回	25	26	神栖市武道館
24	春季下肢筋力向上トレーニング教室	市内在住又は勤務の一般男女	全13回	40	45	神栖市武道館
25	秋季下肢筋力向上トレーニング教室	市内在住又は勤務の一般男女	全13回	40	40	神栖市武道館
26	ヨガ教室（春季）	市内在住又は勤務の一般男女	全10回	40	40	神栖市武道館
27	ヨガ教室（秋季）	市内在住又は勤務の一般男女	全10回	40	39	神栖市武道館
28	健康運動教室	市内在住又は勤務の一般男女	全50回	月25	延べ 203	神栖市民体育館
29	ジュニアヒップホップダンス教室	市内在住の小学1年生から小学3年生	全10回	20	9	土合体育館
30	ジュニアヒップホップダンス教室	市内在住の小学1年生から小学3年生	全10回	20	19	土合体育館
31	土合体育館スポーツクラブ	市内在住又は勤務の一般男女	全40回	30	21	土合体育館
32	スポーツ体験教室（クレー射撃）	市内在住又は在勤の小学生から一般男女	全2回	—	50	土合体育館
33	スポーツ体験教室（卓球）	市内在住又は在勤の小学生から一般男女	全2回	100 （高校 生以 上） 50 （小中 学生）	38	土合体育館
34	骨盤底筋トレーニングヨガ教室（春季）	市内在勤・在住の一般男女	全10回	20	19	波崎体育館
35	骨盤底筋トレーニングヨガ教室（秋季）	市内在勤・在住の一般男女	全10回	20	20	波崎体育館
36	審判及び指導者の養成講習会（前半）	スポーツ指導者及び審判員	1回	—	13	神栖消防署
37	親子スイミング	幼児と保護者	12	30組	1組	はさきマリンプ ール
38	キッズスイム	4歳児相当から就学前	16	30	38	はさきマリンプ ール

39	小学生スイム	小学生	16	90	59	はさきマリンプール
40	夏休み水泳教室	小学生	3	15	17	はさきマリンプール
41	障がい児スイミング	小学生と保護者	4	3組	0組	はさきマリンプール
42	中学生開放	市内中学生	4	15	0	はさきマリンプール
43	水中ウォーキング	16歳以上	34	15	155	はさきマリンプール
44	成人水泳	16歳以上	16	40	22	はさきマリンプール
45	泳力チャレンジ	プール利用者	3	8	10	はさきマリンプール
46	ストレッチ	16歳以上	8	15	16	はさきマリンプール
47	ストレッチボール	16歳以上	8	15	7	はさきマリンプール
48	筋膜リリース	16歳以上	8	15	59	はさきマリンプール
49	かんたん筋トレ	16歳以上	8	15	32	はさきマリンプール
50	エアロ&筋トレ	16歳以上	全10回	15	26	はさきマリンプール
合計			566	1,687	1,676	

※対象者を施設来場者としている等、定員を定めていない教室については「―」と記載し、合計値には含めない

(令和6年12月末時点)

## 第4章 意識調査結果

### 1. スポーツに関する市民・団体等意識調査

第2期神栖市スポーツ振興基本計画を見直すにあたり、市民のスポーツ等の実施状況や施設に対する要望を把握することを目的に、市民（18歳以上の市内在住者）及び市内スポーツ団体等を対象としたアンケートを実施しました。アンケート結果の詳細は、資料編に記載しています。

### 2. 調査結果からみえる課題

#### （1）市民意識調査

##### ◆課題1 スポーツ施設の整備・改修

本市のスポーツ施設の満足度については、「やや不満」、「不満」と回答した人が20.3%となっており、その理由について多かった項目は、「施設の設備」（50.0%）、「その他」（18.5%）、「利用料金」（11.1%）となっています。「その他」の内容には、「施設の劣化」、「空調設備がほしい」等の施設設備への意見が多く見受けられます。

また、自由記述においても、「冷暖房等の設備が充実している施設が少ない」、「運動施設の老朽化の改善」、「スポーツ施設に無料の給水スポット等あったらいい」等の意見が見受けられます。施設の改修においては、長寿命化計画に合わせて市民ニーズに沿ったものとなるよう検討していく必要があります。

##### ◆課題2 プロスポーツ試合、国際大会の誘致

##### ◆課題3 地域スポーツチームのPR活動

今後参加してみたいスポーツイベントは、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が30.1%と最も多いとともに、今後の本市としての取り組み方では、「プロスポーツの公式試合、各種スポーツ大会や合宿、催し物を開催し、多くの観戦者、参加者に訪れてもらえるような取り組みを進めるべき」が27.8%を占めています。また、競技会場で観戦したいスポーツでは、「サッカー（J1、J2、J3、日本代表）」が33.1%と最も多く、次いで「国際大会」が28.9%となっています。

本市と協定を結ぶプロスポーツチームの知名度では、「1～2チームは知っている」が57.8%と最も多く、次いで「全て知っている」が34.4%であり、「応援しているチームがある」は6.0%にとどまっています。

今後は、スポーツツーリズムの考え方を視野に、市内外の参加者（スポーツを「する」）や観戦者（スポーツを「観る」）の増加による地域の活性化を目指し、市内のスポーツイベントやプロスポーツ試合、国際レベルの大会の開催と地元スポーツチームのPRを推進していく必要があります。

◆課題4 スポーツに関する情報提供の充実

◆課題5 スポーツに関連するボランティア活動の普及

スポーツに関連するボランティア活動を行ったことがない理由は、「ボランティアに関する情報が入手できない」が23.5%と最も多く、スポーツ・運動に関する広報や情報提供では、「もっと情報提供を行ってほしい」が58.6%となっています。

また、どのようなボランティア活動を行いたいかについては、「スポーツイベントのボランティア・スタッフ（スポーツ大会・地域の運動会等の不定期な活動）」が71.4%と最も多くなっています。

このことから、引き続き、広報紙や市ホームページ、SNS等で積極的に情報発信を行っていくとともに、今後は、スポーツに関連するボランティア活動の場を創出する必要があります。

◆課題6 インクルーシブスポーツ\*の普及啓発

インクルーシブスポーツの経験の有無については、「ない」が91.7%と最も多く、普及につながると思う取り組みについては、「身近な場所で体験できる機会を増やす」が74.4%と最も多くなっています。

今後、年齢や障がいの有無等に関わらず、誰もがスポーツに参画できるような社会の実現や気運の醸成を図る必要があります。そのため、インクルーシブスポーツを体験していただく機会を増やす等、普及啓発につながる取り組みを検討していく必要があります。

※インクルーシブスポーツ：障がいの有無や年齢、性別、文化的背景等に関わらず、誰もが平等に参加できるスポーツ  
例 車椅子バスケットボール、ボッチャ、モルック等

◆課題7 スポーツ施設の利活用

今後、整備が必要とされるスポーツ施設については、「体育館（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球等）」が51.1%と最も多く、次いで「ジョギングコース・ウォーキングコース等」が35.0%となっています。

また、1年間に行った運動・スポーツ種目では、「ウォーキング」が32.0%と最も多く、次いで「バレーボール」が27.1%、「バスケットボール」が13.5%となっています。

このことから、室内競技種目とウォーキングのニーズが高いことが伺えます。

今後は、「体育館」や「ジョギングコース・ウォーキングコース等」の整備に加え、スケートボード、BMX等の新たなニーズに対応する運動施設の整備も検討する必要があります。

写真

## (2) 団体等意識調査

### ◆課題1 会員獲得のための方策と団体支援

各団体の運営上の課題では、「メンバーの確保」が78.6%と前回と同様最も多くなっており、本市として取り組むべきことでは、「スポーツ団体の活動に対する支援」が48.8%と最も多くなっています。スポーツ団体は、本市におけるスポーツ振興に必要であることから、引き続き会員獲得のための方策を含め、団体支援を行っていく必要があります。

### ◆課題2 体育館等の屋内スポーツ施設の充実

各団体の運営上の課題において、「活動場所の確保」が48.8%で前回と比べると最も増加しています。また、利用している本市のスポーツ施設では、順に「神栖市民体育館」、「かみす防災アリーナ」、「神栖市武道館」、「土合体育館」、「波崎体育館(弓道場含む)」と続き、体育館等の屋内スポーツ施設の需要が高いことが伺えます。

さらには、今後整備・充実が必要な市スポーツ施設として、「体育館」が77.4%と最も多く、今後、本市として取り組むべきことでも、「学校体育施設の開放(42.9%)」が2番目に多くなっています。

体育館等の屋内スポーツ施設のニーズが高いことから、施設の充実を図るとともに、学校体育施設を利用する学校開放事業や部活動の地域展開等、スポーツ施設を利用する事業の効率的な方策等を検討し、利用しやすい環境づくりが必要です。

### ◆課題3 大会イベント等の充実

今後本市として取り組むべきことでは、「初心者向けスポーツ教室の充実」が前回より17.7%と著しく増加しています。

また、“今後、本市として取り組むべきこと”については、前回最も多かった「健康・体力づくりの推進」が6.6%の減少傾向にある一方で、各団体の“活動の目的”では、「競技力の向上」が59.5%と前回と同様最も多く、次いで「健康の保持・増進」が58.3%、「競技の普及・推進」が50.0%と続いています。新型コロナウイルス感染拡大に伴う健康増進への意欲向上とともに、健康増進から競技への意欲が増加しているとも読み取れます。

今後は、初心者向けスポーツ教室等のスポーツを始めるきっかけに関する取り組みや、大会イベントの開催等スポーツに関する活動の場の提供を検討していく必要があります。

### ◆課題4 中学校の休日部活動の地域移行への対応

中学校の休日部活動の地域クラブ活動への移行にあたっての意見として、指導者の負担の増加や育成に対する支援の充実、また平日と休日で異なる活動となる生徒の部活動へのモチベーション低下に対する懸念等の意見が多く寄せられました。今後は、これらの不安を解消し、中学生や地域のより良いスポーツ環境を築くとともに、スポーツ団体がより参画しやすい制度設計を構築していく必要があります。

## 第5章 計画の基本的な考え方

### 1. 基本理念

子どもから高齢者まで、市民誰もが、それぞれの体力や年齢、身体、目的に応じて、身近な地域で「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

このため、「市民ひとり・1スポーツのまち」のキャッチフレーズのもと、次のような将来像の実現を目指して、スポーツが盛んな活気のあるまちづくりを推進していきます。

**市民ひとり・1スポーツのまち**  
**みんなで築く 生涯スポーツ都市かみす**

### 2. 計画見直しの考え方

計画中間時点での現状の変化や市民ニーズを踏まえ、次の6つの考え方を基に計画の見直しを行います。

#### (1) 部活動の地域展開に伴う、新たなスポーツ環境の構築

本市では、国や県における部活動の地域展開の方針を受け、令和5年度から部活動の受け皿となるモデル地域クラブの実証や財源確保等の検討を進めてきました。令和6年9月には、かみす地域クラブの活動が開始され、生徒のスポーツ環境が大きく変化している状況です。環境変化による生徒への負担や大会参加の確実性、指導者の確保・育成等の懸念が生じています。部活動の地域展開に伴い、地域クラブ活動を核とした、生徒が継続してスポーツに親しめる環境を構築することが求められます。

#### (2) アーバンスポーツ<sup>\*</sup>やインクルーシブスポーツの普及啓発

近年では、広い競技場等を必要とせず、都市の中でできるBMXやスケートボード等アーバンスポーツの人気の上昇しています。本市においても波崎東部地域に新たな施設整備が計画され、地域のにぎわい創出が期待されています。

また、障がいの有無や年齢等に関わらず、誰もが平等に参加できるインクルーシブスポーツも注目を集めています。本市においても誰もがスポーツに親しめる機会を提供することで、インクルーシブスポーツの普及啓発が求められます。

<sup>\*</sup>アーバンスポーツ：過激で華麗な技を競い合うスポーツの中で、都市での開催可能なもの

例 スケートボード、BMX、インラインスケート等

(3) スポーツ施設の改修・整備の推進

令和2年度に策定された運動施設等長寿命化計画に基づき、計画的な施設の長寿命化対策を図るとともに、整備・改修にあたっては、市民ニーズや社会情勢の変化、新しい生活様式等を踏まえたものとする必要があります。

(4) スポーツに関わるボランティア等の拡大

中学校の地域クラブ活動や障がいのある方のイベント・大会の実施においては、多くの人のサポートを必要としている状況です。スポーツに関わる市民を増やし、様々なスポーツ活動を支える仕組みが重要となっています。

(5) プロスポーツ等民間企業との連携強化

本市はJリーグ鹿島アントラーズのホームタウンであるとともに、プロ野球独立リーグの茨城アストロプラネッツや男子プロバスケットボールチームの茨城ロボッツとフレンドリータウン協定やマザータウン協定を締結している等、本市固有の強みがあります。市民ニーズとしてスポーツイベントの実施やプロスポーツの観戦といった声が多く挙げられていることから、プロスポーツと民間企業との連携を強化し、市民がスポーツに触れる機会を増やしていくことが求められます。

(6) スポーツに関わるための情報発信の充実

市民意識調査において、スポーツ・運動に関する広報や情報提供の改善が求められています。また、スポーツに関連するボランティア活動を行ったことがない理由として情報が入手できないことが最も多く挙げられ、ボランティアに参加意向のある方に情報が届いていない状況が伺えます。情報発信の充実により、スポーツに関わる市民の拡大が求められます。

### 3. 基本方針

計画の基本理念・将来像を実現するために、基本施策の方向として次の4つの基本方針を定めます。

(1) 子どもから高齢者まで、市民誰もが、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができるよう、市民ニーズに即して多様な分野でスポーツ活動プログラムを提供し、広く市民にスポーツ活動の普及を図っていきます。

(2) 市民のスポーツ活動の場の拡充を進めるため、スポーツ施設設備の整備充実や効果的な管理・運用を図るとともに、学校体育施設の一層の活用を図っていきます。

(3) 市民のスポーツ活動の推進を支える体制の充実を図るため、スポーツ指導者や団体の育成・活動支援を図るとともに、競技力向上のための支援体制やスポーツ情報提供体制の充実等に努めます。

(4) スポーツを通してまちの活力づくりを推進するため、スポーツイベントの開催や、スポーツツーリズム等の情報発信の強化に取り組みます。

#### 4. 基本目標

「基本理念」の内容を実現するため、次の4つの基本目標を掲げ、施策の方向を明らかにするとともに、その総合的な展開を図ります。

##### 基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進

障がいの有無や年齢、性別等に関わらず、市民の誰もが生涯にわたって気軽にスポーツ活動ができる機会・プログラムを提供します。また、中学校部活動の地域展開に合わせ、地域クラブ活動の環境構築を図ります。さらには、アーバンスポーツ等の普及を推進します。

##### 基本目標2 スポーツ施設等の整備・充実

市民の身近な施設から中核拠点施設を利活用し、市内のにぎわいを創出するため、市民のニーズに配慮したスポーツ施設の整備充実を図ります。学校体育施設を市民が利用しやすくするほか、老朽化が進行する施設は、今後も計画的な改修を進め、効果的な運用に努めていきます。

##### 基本目標3 スポーツ推進体制の整備

市民のスポーツ活動を支える地域活動体制、指導者・関係団体への活動支援体制、SNS等を活用した情報体制の整備充実を図ります。また、本市と協定を結ぶプロスポーツ団体と連携し、スポーツイベントを開催する等、地域活性化やスポーツの振興・普及促進等を推進していきます。

##### 基本目標4 スポーツによるまちの活力づくりの推進

プロスポーツ団体を含む民間事業者と連携した各種スポーツ大会やスポーツイベント等の実施やスポーツ合宿の誘致を図り、スポーツを通じた市民の世代間交流や交流人口・関係人口の拡大等、まちの活力づくりに寄与していきます。

## 5. 計画の成果指標

本計画の成果指標については、計画の達成状況を測るために、以下の2つの指標と数値目標を設定しました。

この指標に基づき計画の進捗状況を評価しながら、効果的に計画を推進していきます。

### 1. 成人の週1回以上のスポーツ実施率目標：50%以上を維持（令和11年度）

※今回の市民意識調査は前回調査と比べて年齢層や回答方式等が異なるため、結果の数値に影響を与えている可能性があります。そのため、本計画の成果指標は、これらの点を考慮した上での数値となっています。

※スポーツに関する市民意識調査結果により設定

### 2. 運動教室プログラム参加率目標：65%以上

※指定管理者が開催する運動教室プログラムへの参加率61.7%（令和5年度実績）

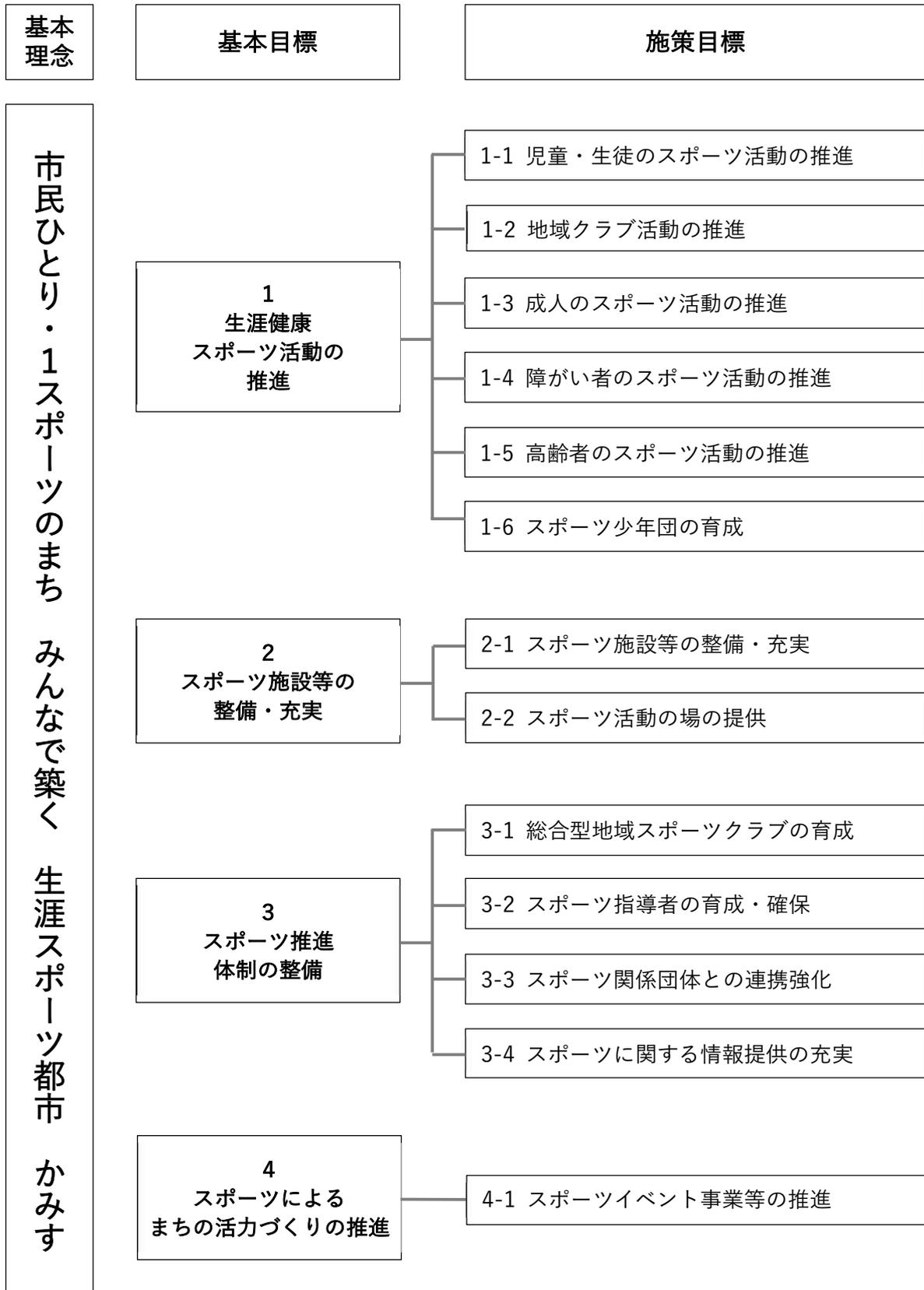


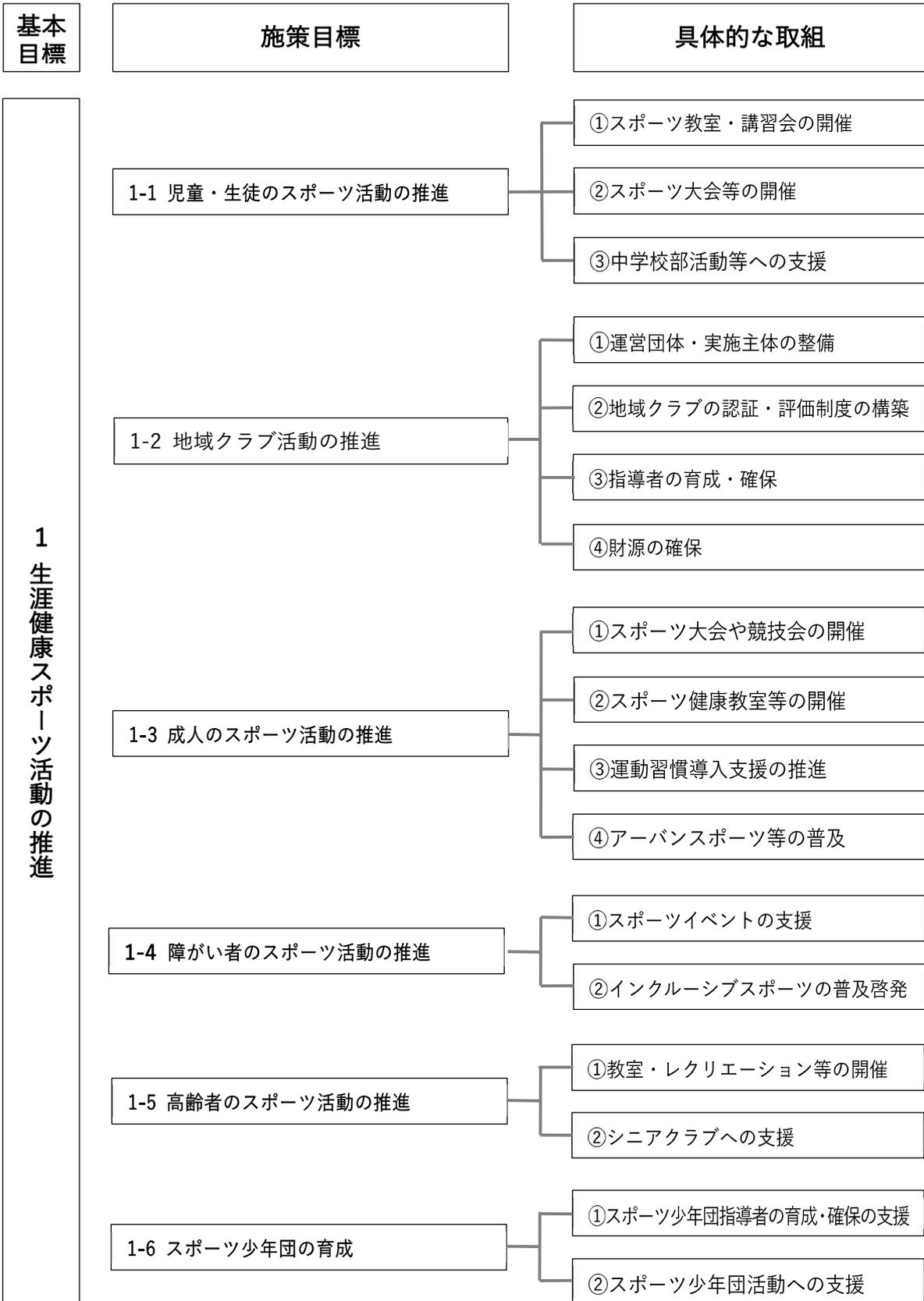
写真

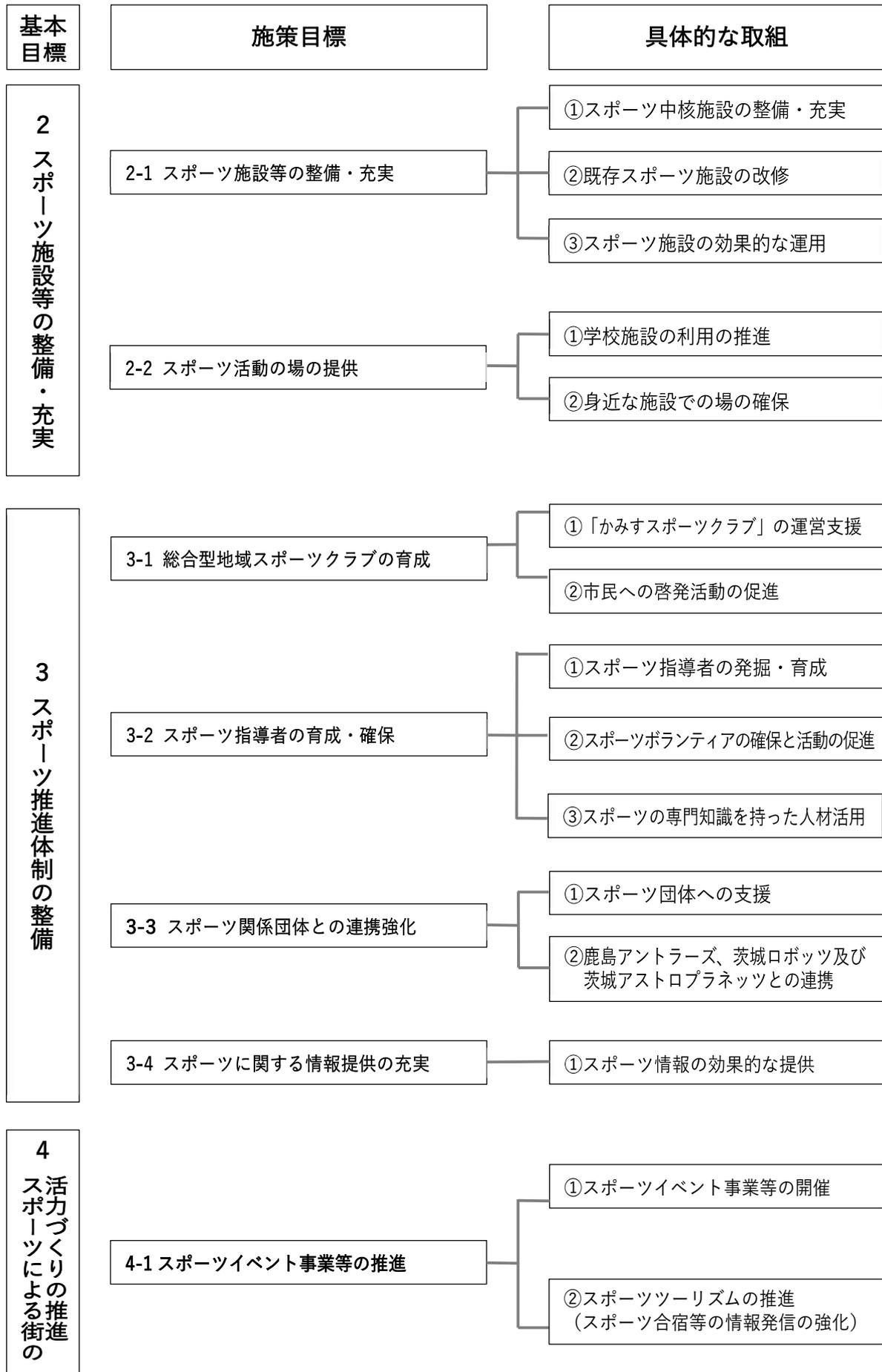
6. 施策の体系

キャッチフレーズ

市民ひとり・1スポーツのまち







## 第6章 施策の展開

### 1. 施策の位置づけ

本施策は、第4章 意識調査結果、第5章 計画の基本的な考え方に基づき、各担当課における今後の取り組みについて示すものです。

### 2. 基本目標1 生涯健康スポーツ活動の推進

#### ◆施策目標 1-1 児童・生徒のスポーツ活動の推進

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①スポーツ教室・講習会の開催	トップアスリートとの交流や指導機会を通して、スポーツへの気運醸成に努めます。	文化スポーツ課
②スポーツ大会等の開催	親子参加型イベントの充実を図ります。	文化スポーツ課
③中学校部活動等への支援	部活動の地域展開に合わせて補助金のあり方・支給基準・支給方法等について検討し、現状に即した支援を行います。	学務課
	外部コーチとして部活動に関わっている人材等に対して、部活動指導員についてアナウンスするとともに配置を進めます。	教育指導課

写真

◆施策目標 1-2 地域クラブ活動の推進

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①運営体制の構築	地域クラブ活動自体と地域クラブ活動移行推進計画について、生徒や保護者、学校・教員、市民等への理解促進・周知を図ります。また、地域展開による現状等を踏まえ、充実した地域クラブ活動の在り方を検討していくとともに、運営体制の構築を進めます。	教育指導課
②地域クラブの認証・評価制度の構築	クラブの立ち上げに必要な事項（規約、運営方針、遵守事項等）を整理し、クラブに対する認証・評価制度の構築を進めます。	教育指導課 文化スポーツ課
③指導者の育成・確保	生徒・保護者等へ安心安全を担保するため、新規・既存の指導者が地域クラブ活動で指導を実施するにあたり、必要とする要素・研修等を明確にします。地域のスポーツ団体だけではなく、企業連携による指導者（企業に属する実業団チーム等）の確保や教員の兼職兼業の可能性も含めて検討します。	教育指導課
④財源の確保	活動の維持・運営に必要な範囲で可能な限り低廉な会費を設定し、持続可能なクラブ活動とするための、資金循環の仕組みづくりを進めます。	教育指導課

写真

◆施策目標 1-3 成人のスポーツ活動の推進

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①スポーツ大会や競技会の開催	トップアスリートによるプロスポーツの試合、国際大会等の誘致を推進します。 また、意識調査では球技イベントのニーズも高いことから、イベントの充実を図ります。	文化スポーツ課
②スポーツ健康教室等の開催	参加したスポーツイベントとして、「神栖市はさきさわやかランニング大会」が20.3ポイント増加しています。また、「神栖市スポーツレクリエーション祭」は、6割を超えていることから、今後も継続して開催するとともに、参加者の拡大を図ります。	文化スポーツ課
③運動習慣導入支援の推進	「働き世代から取り組めるような、健康づくりに主眼を置いた運動教室の継続」「市内運動施設で開催している運動教室に関する情報提供」「健康推進アプリの周知」に努め、初心者でも参加しやすい環境づくりを進めます。	文化スポーツ課 健康増進課
④アーバンスポーツ等の普及	東京2020オリンピックで新種目になったスケートボード・BMX等のアーバンスポーツの普及を目指します。	文化スポーツ課

写真

◆施策目標 1-4 障がいのある人のスポーツ活動の推進

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①スポーツイベントへの支援	誰もが参加しやすいよう周知方法等を検討します。 また、会場づくりや運営方法についても障がいのある人に配慮した環境づくりに努めます。 また、スポーツに関するボランティアとして、スポーツイベントのボランティア・スタッフの関心が高かったことを受け、市民と協働したイベントの開催を目指します。	障がい福祉課
②インクルーシブスポーツの普及啓発	障がいの有無や年齢、性別等に関わらず、誰もが身近な場所でインクルーシブスポーツを体験できる機会を創出し、普及啓発を図ります。	障がい福祉課

◆施策目標 1-5 高齢者のスポーツ活動の推進

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①教室・レクリエーション等の開催	スポーツ講座の開催については、初めてでも参加しやすい講座運営に努め、広報周知を行うとともに、一部講座の見直し等を検討しながら継続します。	長寿介護課
②シニアクラブへの支援	高齢者の日々の健康と生きがいづくりのため、引き続き、単位シニアクラブの支援を行います。	長寿介護課

◆施策目標 1-6 スポーツ少年団の育成

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①スポーツ少年団指導者の育成・確保の支援	スポーツ指導者を確保するとともに、活動支援体制を構築します。	文化スポーツ課
②スポーツ少年団活動への支援	今後も継続して活動支援を行うとともに、団員や指導者確保のための周知方法を工夫する等、広報活動を促し、少年団活動の充実を図ります。	文化スポーツ課

### 3. 基本目標2 スポーツ施設等の整備・充実

#### ◆施策目標 2-1 スポーツ施設等の整備・充実

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①スポーツ中核施設の整備・充実	かみす防災アリーナやはさきマリンスプールの開館に伴い、市内のにぎわいを創出するとともに、施設のより効果的な活用を進めます。また、PFI・指定管理手法によるノウハウを活用し、運営・維持管理をします。	文化スポーツ課
②既存スポーツ施設の改修	多くのスポーツ施設で老朽化が進んでいることから、運動施設長寿命化計画等に基づき、今後も施設の計画的な改修を進め、効果的な運用に努めます。また、市民ニーズや社会情勢の変化、新しい生活様式等に対応した施設の整備を進めます。	文化スポーツ課
③スポーツ施設の効果的な運用	平日及び合宿閑散期の稼働率の向上のため、今後は、指定管理者と連携し、利用団体の増加促進を図ります。	文化スポーツ課 観光振興課

写真

◆施策目標 2-2 スポーツ活動の場の提供

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①学校施設の利用の推進	市民ニーズを踏まえた施設の利用を検討するとともに、適正利用を広く周知します。	教育委員会
②身近な施設での場の確保	市内5館のコミュニティセンター（大野原、うずも、平泉、波崎東、矢田部）では、様々なスポーツ活動の場として利用が可能です。スポーツ活動の場として使用できることを周知するとともに、スポーツを通じたコミュニティの醸成を図ります。 なお、各コミュニティセンターは、いずれの施設も老朽化してきていることから、計画的な改修、工事等により、整備及び管理を行います。	市民協働課

4. 基本目標3 スポーツ推進体制の整備

◆施策目標 3-1 総合型地域スポーツクラブの育成

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①「かみすスポーツクラブ」の運営支援	今後も継続して、かみすスポーツクラブの運営に係る支援を行い、団体の確保と活動の充実を図ります。	文化スポーツ課
②市民への啓発活動の促進	かみすスポーツクラブの認知度を今後も向上させるとともに、クラブ加入者を増やすため、広報紙やホームページ等を利用した周知活動を推進します。	文化スポーツ課



◆施策目標 3-2 スポーツ指導者の育成・確保

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①スポーツ指導者の発掘・育成	新たなスポーツ指導者を発掘・確保し、スポーツ指導者への活動支援体制を構築します。	文化スポーツ課
②スポーツボランティアの確保と活動の促進	ボランティア募集情報をより広く周知するための手段や、市民とボランティア活動のコーディネートを行うための体制づくり及び方法を検討します。	市民協働課
③スポーツの専門知識を持った人材活用	市民活動人材バンクへの登録者には、スポーツの専門知識を持った人材が少なく、依頼も少ない状況です。人材バンク自体の認知度を向上し、登録者や利用者の増加を目指し、制度の周知や人材発掘に努めます。	市民協働課

◆施策目標 3-3 スポーツ関係団体との連携強化

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①スポーツ団体への支援	今後も団体の活動実績等を把握しながら、情報交換を行い、団体の自主的な活動を支援します。 また、団体と連携を図りながら、会員獲得に努めます。	文化スポーツ課
②鹿島アントラーズ、茨城ロボッツ及び茨城アストロプラネッツとの連携	鹿行地域の振興を目的に、鹿行5市と鹿島アントラーズが連携し、来場者へ本市特産品の配布等のPR活動を継続して行うことで、来場者の増加と本市の認知度向上を図ります。 また、「マザータウン協定」「フレンドリータウン協定」を締結している、茨城ロボッツと茨城アストロプラネッツと協力し、かみす防災アリーナや海浜球場での公式戦開催等地域活性化やスポーツの振興・普及促進等を推進します。	文化スポーツ課 政策企画課 観光振興課

※茨城ロボッツ：平成25年に誕生した、水戸市・つくば市を中心に活動しているプロバスケットボールチーム。

※茨城アストロプラネッツ：茨城県内を本拠地として、平成31年4月からプロ野球独立リーグ、ルートインBCリーグに参入しているプロ野球球団。

◆施策目標 3-4 スポーツに関する情報提供の充実

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①スポーツ情報の効果的な提供	<p>今後も、生涯学習情報誌「まなびアイかみす」や広報紙、文化・スポーツニュース（年4回）によりスポーツ情報を提供します。</p> <p>また、庁内・関係団体等と連携を図りながら、今後も適時発信を行い、効果的な提供に努め、市内スポーツ施設の利活用方法についても提供します。</p>	<p>広報戦略課 文化スポーツ課</p>

写真

## 5. 基本目標4 スポーツによるまちの活力づくりの推進

### ◆施策目標 4-1 スポーツイベント事業等の推進

具体的な取り組み	今後の取り組み	担当課
①スポーツイベント事業等の開催	トップアスリートとのふれあい体験や各種競技のプロスポーツの試合の誘致をはじめ、民間事業者と協力し、各種スポーツ大会やスポーツイベントを企画し、参加者の増加を図ります。	文化スポーツ課 広報戦略課
	市外を含めた来場者の増加に向けて、SNSを利用した広報等の周知方法の工夫や関係各課と協力しながら、参加者の増加を図ります。	
②スポーツツーリズムの推進（スポーツ合宿等の情報発信の強化）	サッカーをはじめとするスポーツ合宿地としての認知度の向上のため、プロモーションを強化し、交流人口・関係人口等の拡大を図るとともに、スポーツツーリズムを活用した地域経済の活性化を図ります。	観光振興課

◆本市においては、平成30年度にスポーツツーリズム推進室が発足しました。

スポーツツーリズム推進室では、1年を通して温暖な気候と多くのスポーツ施設を活かし、市内での宿泊を伴うスポーツ大会やイベント開催、合宿を希望している方の受付窓口として、各種イベントの開催に向けたサポートをしています。

※スポーツツーリズム：スポーツ庁が「スポーツによる地域活性化の推進を図る取り組み」として推進している考え方。プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果等を目指す取り組み。

## 第7章 計画の推進体制

### 1. スポーツ行政の総合的な推進と進行管理

#### (1) 市民との協働

スポーツ振興を推進していくために、行政は市民のスポーツ活動の現状や要望を把握し、よりよい環境にするとともに、多種多様な大会や教室、イベントを開催していきます。また、市民が積極的にスポーツ活動をするとともに、ボランティアとして活動に参画する等、行政と市民の協働体制を構築していきます。

#### (2) スポーツ団体等との連携

各スポーツ団体の活動内容を把握するとともに、情報交換の機会を増やし、連携していきます。また、スポーツ推進審議会を定期的で開催し、スポーツ振興における問題や課題を協議していきます。

#### (3) 行政関係部署との連携

本市では基礎体力・競技力の向上だけでなく、子どもから高齢者、また障がい者のスポーツ活動等、各種事業を通して支援していきます。また、行政関係部署との調整及び連携を図り、満足度の高い各種施策・事業を展開していきます。

### 2. 計画の進行

本計画の推進にあたっては、市民と行政、スポーツ団体や関係機関が一体となって積極的に取り組んでいきます。また、スポーツツーリズムの推進による交流人口の拡大や地域経済への波及効果等、地域の活性化を進めます。

### 3. 計画の進行管理

本計画に掲げた施策・事業については、神栖市スポーツ推進審議会において、実施状況を報告、また審議するとともに、計画内容についても適宜、見直し及び検討することにより、計画の進行管理に取り組んでいきます。また、第3次神栖市総合計画との整合性を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けた本計画の進捗管理を行います。

## 資料編

### 1. スポーツに関する市民意識調査

#### (1) 調査の概要

##### ◆調査の目的

第2期神栖市スポーツ振興基本計画（後期計画）を策定するにあたり、市民の日ごろの運動やスポーツの実施状況、スポーツ施設に対する要望、今後の本市のスポーツ施策についての考え等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

##### ◆調査対象、方法等

調査地域	市内全域
調査対象者	18歳以上の市内在住の市民
調査方法	Webフォーマットによる配布・回収
調査期間	令和6年10月15日～令和6年11月15日

##### ◆回収状況

回答数	266票
-----	------

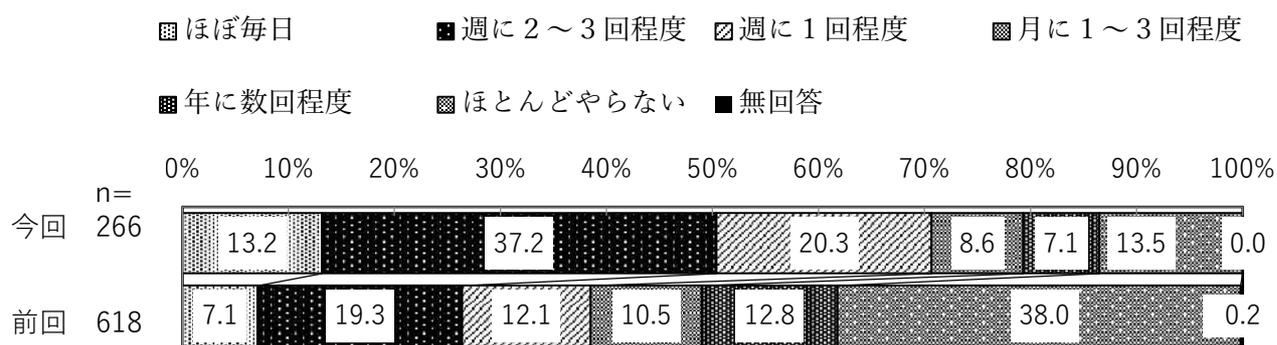
写真

## (2) 主な調査結果

### ①運動やスポーツをする頻度

運動やスポーツをする頻度については、「週に2～3回程度」が37.2%と最も多く、次いで「週に1回程度」が20.3%、「ほとんどやらない」が13.5%、「ほぼ毎日」が13.2%、「月に1～3回程度」が8.6%、「年に数回程度」が7.1%の順となっています。

前回調査と比較すると「ほとんどやらない」が24.5ポイント減少し、「週に2～3回程度」が17.9ポイント増加しています。

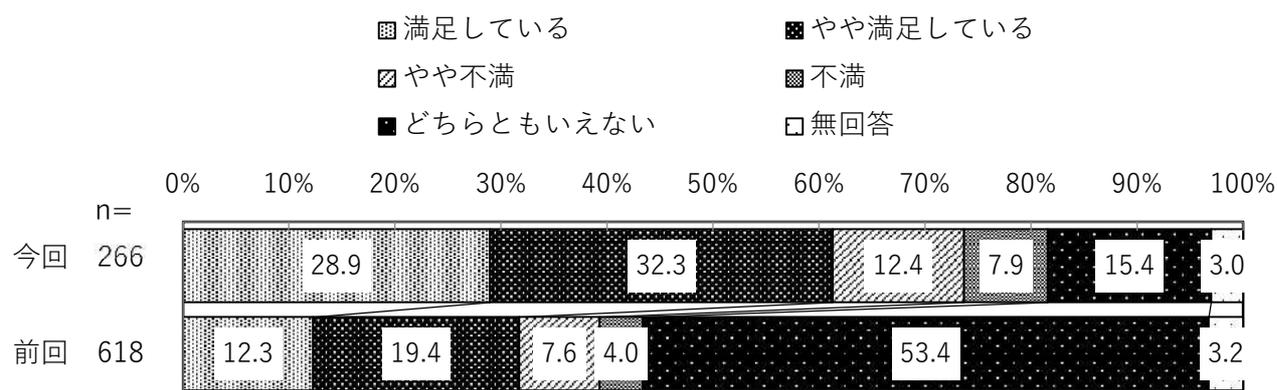


### ②市スポーツ施設の満足度

利用している市スポーツ施設への満足度については、『満足』（「やや満足している」と「満足」の合計）が61.3%、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）が20.3%と『満足』の方が41.0ポイント多くなっています。

なお、「わからない・利用していない」は15.4%となっています。

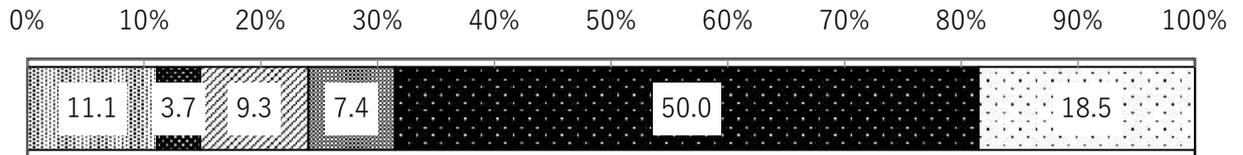
前回調査と比較すると『満足』が16.6ポイント増加しています。



### ③不満の理由

不満の理由については、「施設の設備」が50.0%と最も多く、次いで「その他」が18.5%、「利用料金」が11.1%、「予約方法」が9.3%、「利用時間帯」が3.7%と続いています。

■利用料金 ■利用時間帯 ■予約方法 ■スポーツ施設の不足 ■施設の設備 □その他



n=54

④この1年間に行った運動・スポーツ種目

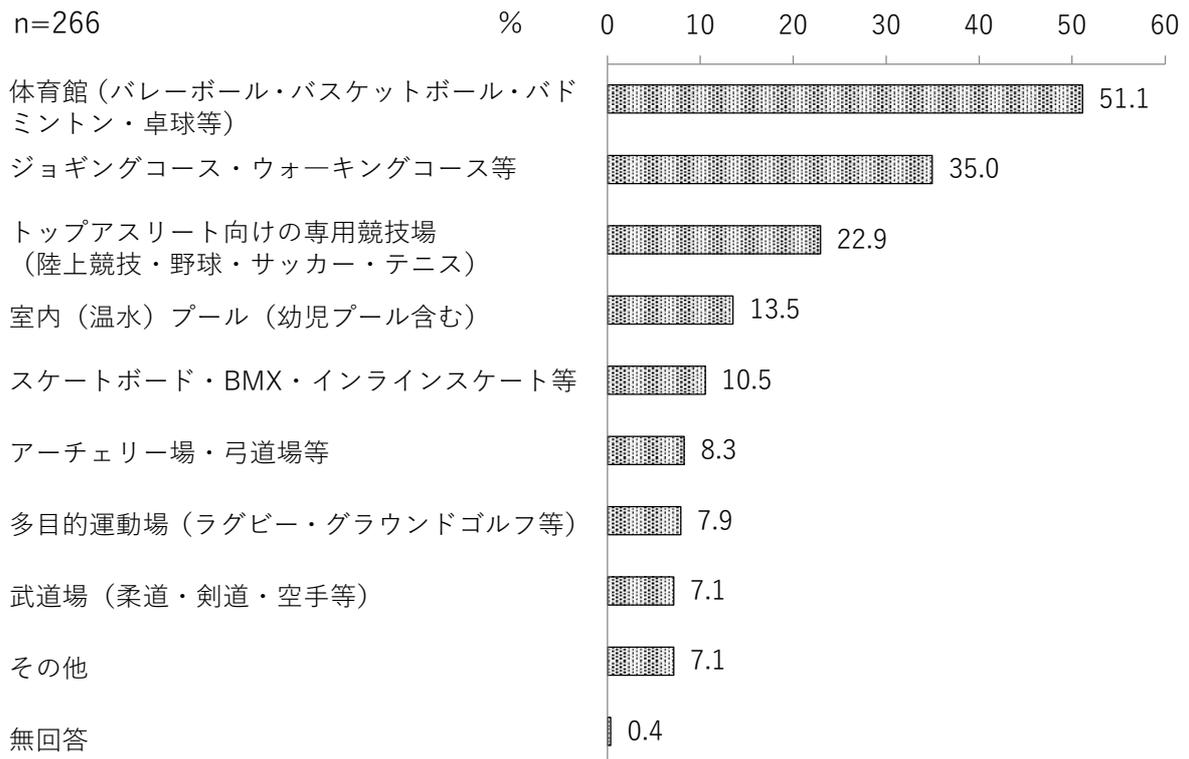
この1年間に行った運動・スポーツ種目については、「ウォーキング」が32.0%と最も多く、次いで「バレーボール」が27.1%、「バスケットボール」が13.5%、「ストレッチ体操」が12.4%、「ジョギング・ランニング」「ゴルフ（練習含む）」が10.2%と続いています。

1年間に行った運動・スポーツ種目 n=266

順位	種目	%	順位	種目	%
1	ウォーキング	32.0%	20	水中ウォーキング・アクアビクス等	2.6%
2	バレーボール	27.1%	20	eスポーツ	2.6%
3	バスケットボール	13.5%	23	ダンス・ブレイクダンス	2.3%
4	ストレッチ体操	12.4%	24	エアロビクスダンス	1.9%
5	ジョギング・ランニング	10.2%	24	エアロバイク等の有酸素トレーニング	1.9%
5	ゴルフ（練習含む）	10.2%	26	柔道	1.1%
7	サッカー	9.0%	26	マラソン	1.1%
8	水泳	8.6%	26	無回答	1.1%
8	バドミントン	6.4%	29	剣道	0.8%
10	その他	6.0%	29	その他武道	0.8%
11	テニス（軟式・硬式）	5.6%	29	サーフィン・サップ等マリンスポーツ	0.8%
11	体操（ラジオ体操等含む）	5.6%	32	ソフトボール	0.4%
11	卓球（ラージボール卓球含む）	5.3%	32	スポーツクライミング	0.4%
11	スキー・スノーボード等ウィンタースポーツ	5.3%	32	スケートボード・BMX・インラインスケート	0.4%
15	ウェイトトレーニング	4.9%	32	ラグビー	0.0%
16	弓道	4.5%	32	格闘技	0.0%
17	ヨガ・ピラティス	4.1%	32	ゲートボール・グラウンドゴルフ	0.0%
18	特になし	3.4%	32	スカッシュ	0.0%
19	サイクリング	3.0%			
20	野球（軟式・硬式）	2.6%			

⑤市スポーツ施設に望むこと

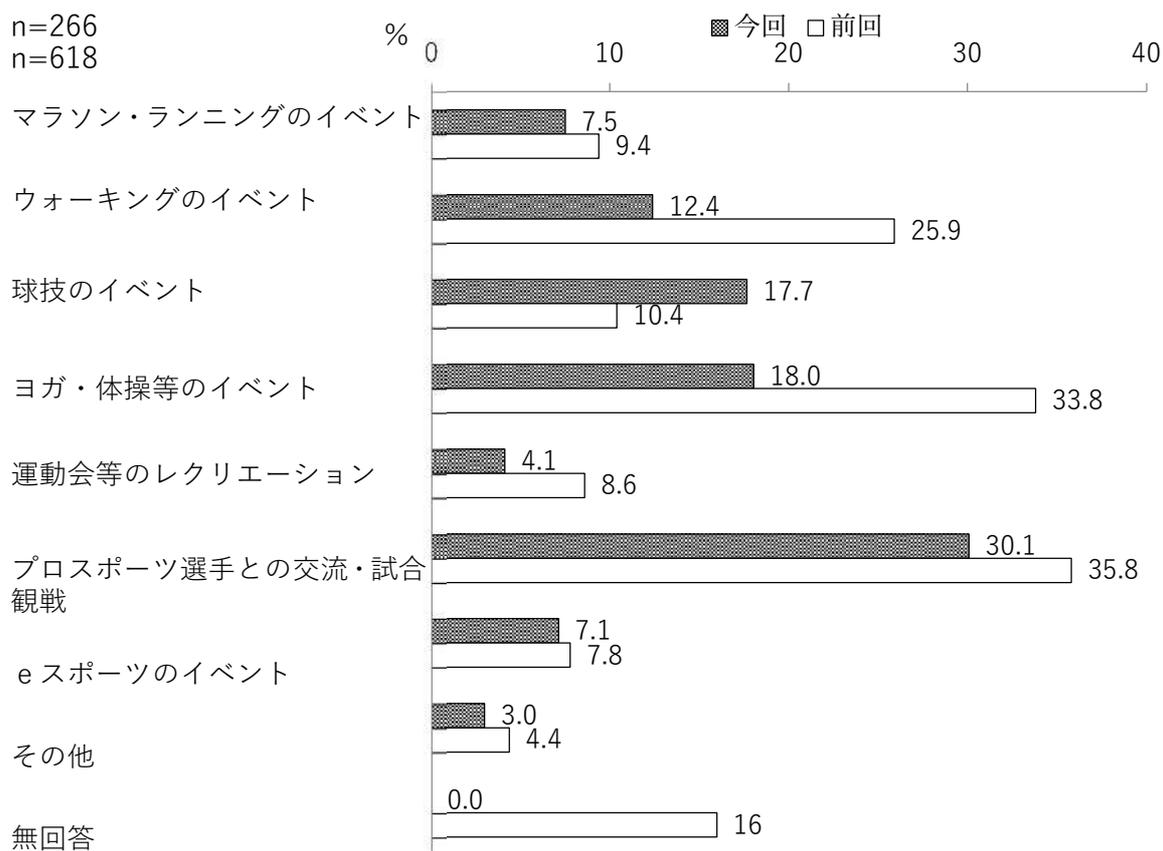
今後、整備が必要とされるスポーツ施設については、「体育館（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球等）」が51.1%と最も多く、次いで「ジョギングコース・ウォーキングコース等」が35.0%、「トップアスリート向けの専用競技場（陸上競技・野球・サッカー・テニス）」が22.9%、「室内（温水）プール（幼児プール含む）」が13.5%、「スケートボード・BMX・インラインスケート等」が10.5%と続いています。



⑥今後参加してみたいスポーツイベント

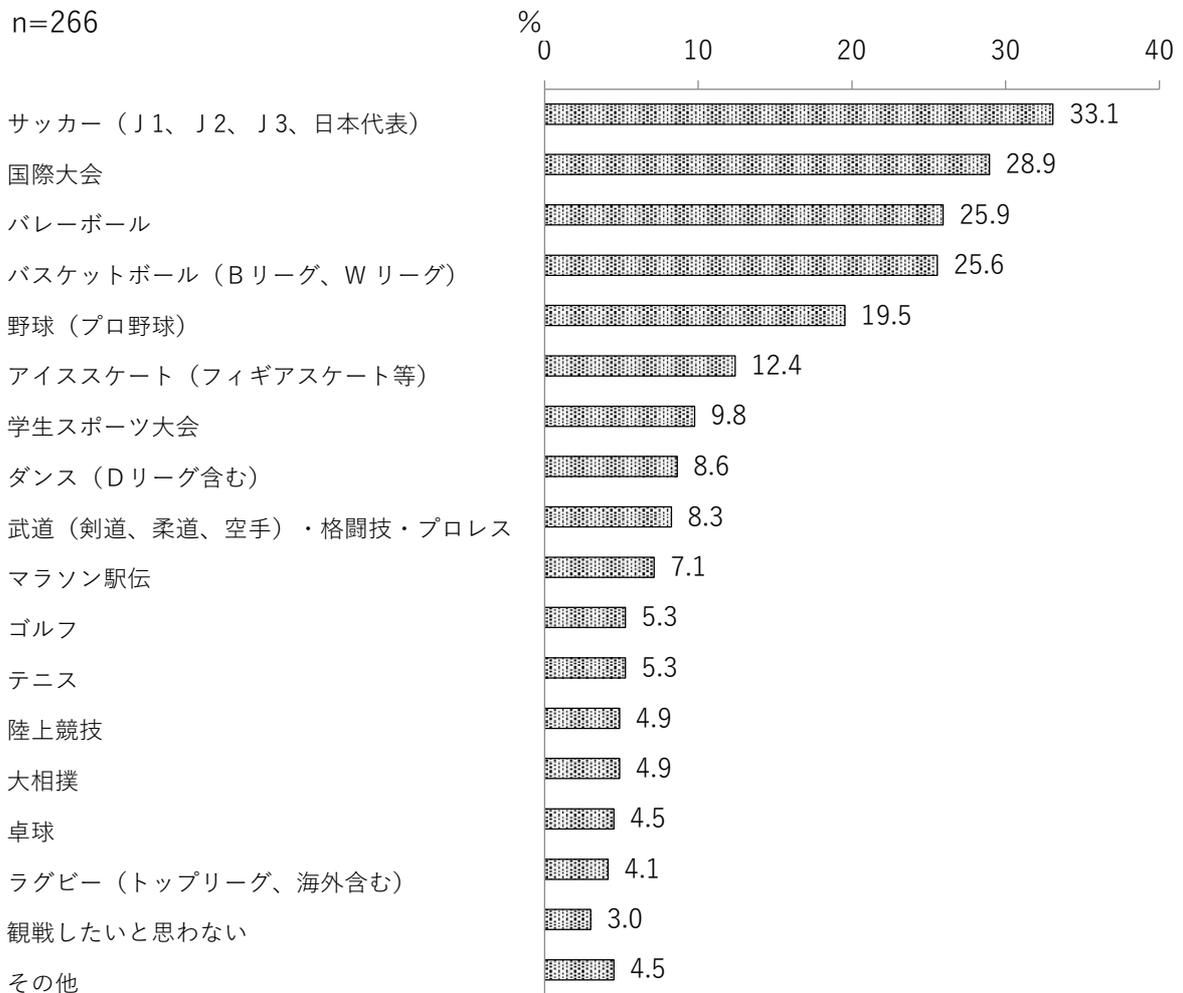
今後、参加してみたいスポーツイベントについては、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が30.1%と最も多く、次いで「ヨガ・体操等のイベント」が18.0%、「球技のイベント」が17.7%、「ウォーキングのイベント」が12.4%、「マラソン・ランニングのイベント」が7.5%、「eスポーツのイベント」が7.1%、「運動会等のレクリエーション」が4.1%の順となっています。

前回調査と比較すると「球技のイベント」が7.3ポイント増加しています。



⑦競技会場で観戦したいスポーツ

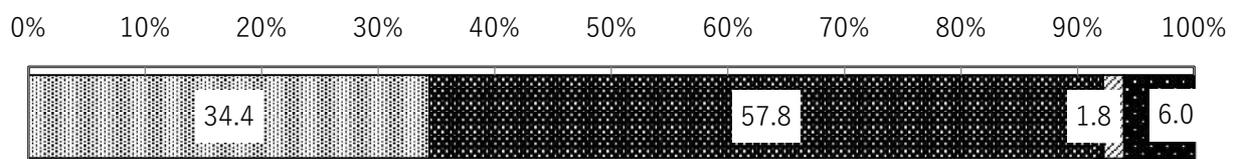
競技会場で観戦したいスポーツについては、「サッカー（J1、J2、J3、日本代表）」が33.3%と最も多く、次いで「国際大会」が28.9%、「バレーボール」「バスケットボール（Bリーグ、Wリーグ）」が25.9%、「野球（プロ野球）」が19.5%、「アイススケート（フィギアスケート等）」が12.4%と続いています。



⑧「鹿島アントラーズ」「茨城ロボッツ」「茨城アストロプラネッツ」の知名度

「鹿島アントラーズ」「茨城ロボッツ」「茨城アストロプラネッツ」の知名度については、「1～2チームは知っている」が57.8%と最も多く、次いで「全て知っている」が34.4%、「応援しているチームがある」が6.0%、「全く知らない」が1.8%となっています。

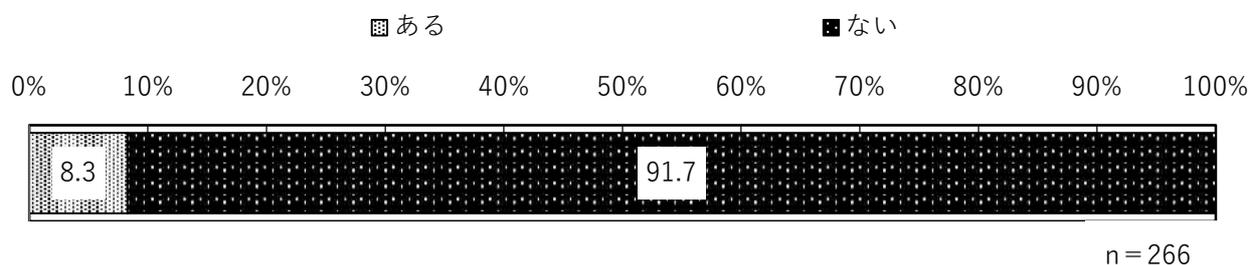
■全て知っている ■ 1～2チームは知っている ■ 全く知らない ■ 応援しているチームがある



n=266

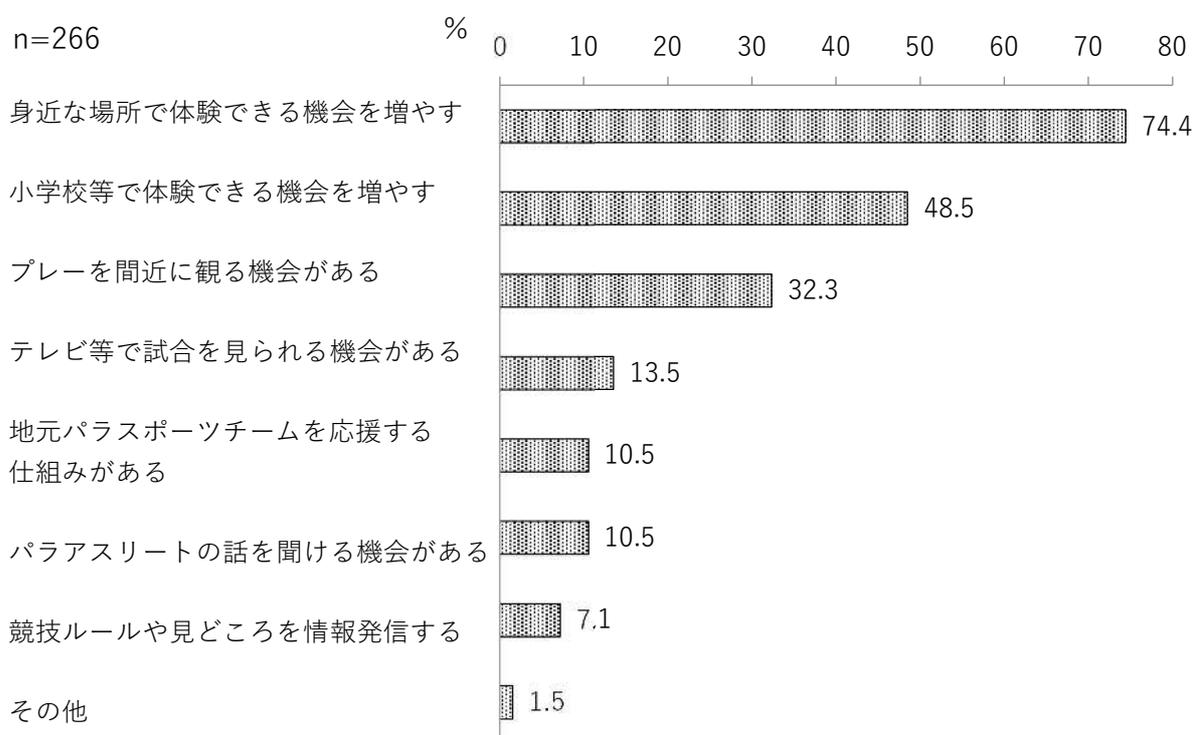
⑨インクルーシブスポーツの経験の有無

インクルーシブスポーツの経験の有無については、「ない」が 91.7%、「ある」が 8.3%となっています。



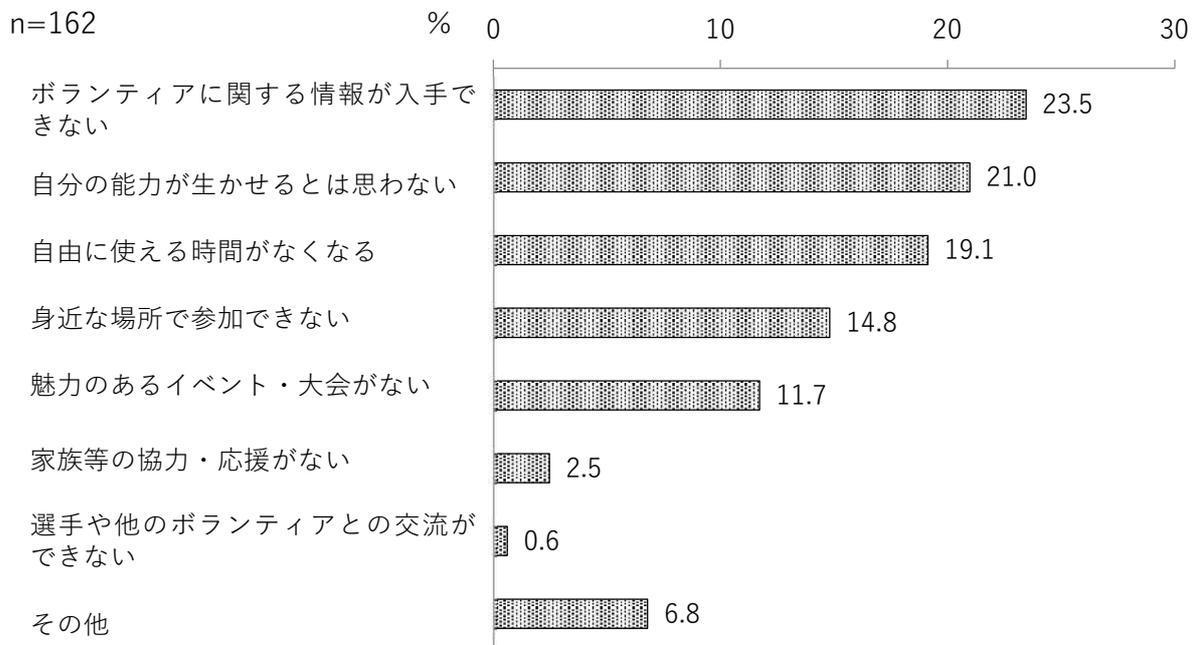
⑩インクルーシブスポーツの普及につながると思う取り組み

インクルーシブスポーツの普及につながると思う取り組みについては、「身近な場所で体験できる機会を増やす」が 74.4%と最も多く、次いで「小学校等で体験できる機会を増やす」が 48.5%、「プレーを間近に観る機会がある」が 32.3%、「テレビ等で試合を見られる機会がある」が 13.5%、「地元パラスポーツチームを応援する仕組みがある」「パラアスリートのお話を聞ける機会がある」が 10.5%、「競技ルールや見どころを情報発信する」7.1%、「その他」が 1.5%の順となっています。



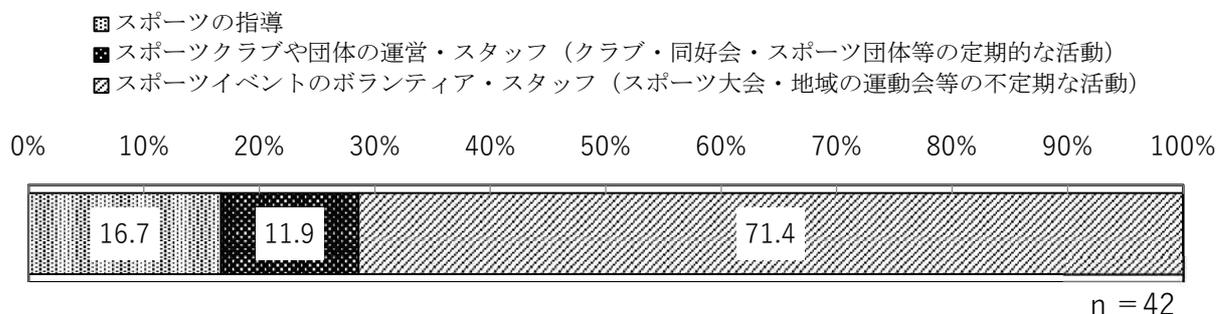
⑪スポーツに関連するボランティア活動を行ったことがない理由

スポーツイベントに「行ったことがない」と回答した人に、行ったことがない理由を聞いたところ、「ボランティアに関する情報が入手できない」が23.5%と最も多く、次いで「自分の能力が生かせるとは思わない」が21.0%、「自由に使える時間がなくなる」が19.1%、「身近な場所で参加できない」が14.8%、「魅力のあるイベント・大会がない」が11.7%と続いています。



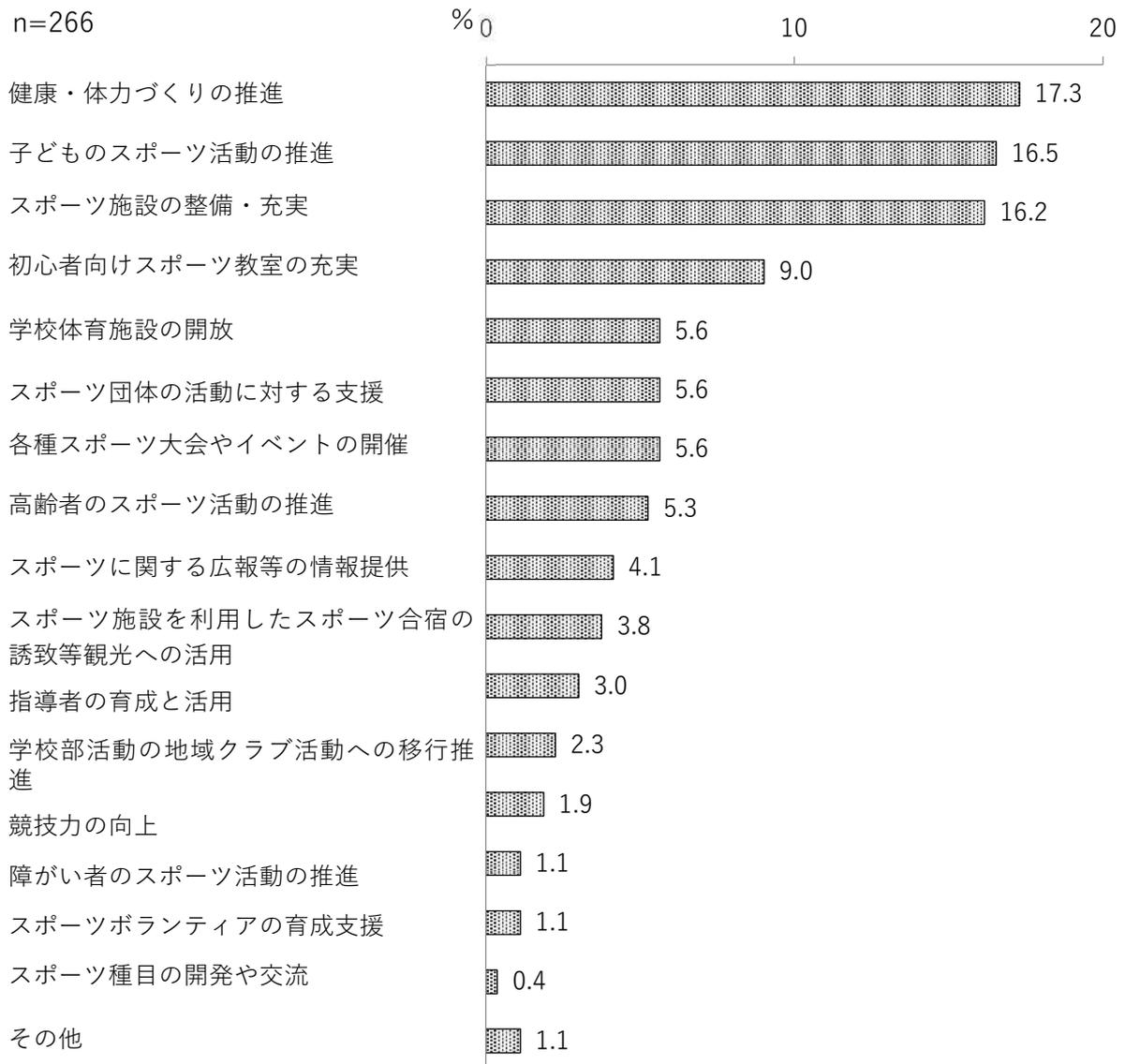
⑫どのような内容ならスポーツに関連するボランティア活動を行いたいのか

機会があれば「是非行いたい」「できれば行いたい」と回答した人に、どのような内容なら行いたいかを聞いたところ、「スポーツイベントのボランティア・スタッフ（スポーツ大会・地域の運動会等の不定期な活動）」が71.4%と最も多く、次いで「スポーツの指導」が16.7%、「スポーツクラブや団体の運営・スタッフ（クラブ・同好会・スポーツ団体等の定期的な活動）」が11.9%となっています。



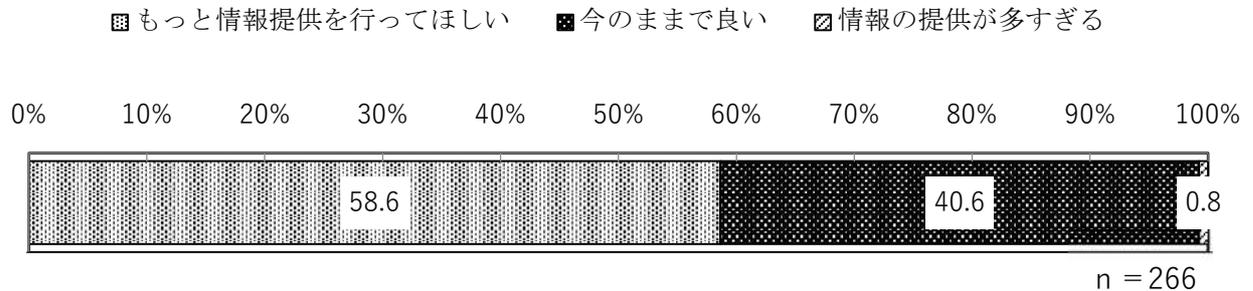
⑬今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策

今後重点を置くべき本市のスポーツ振興施策については、「健康・体力づくりの推進」が17.3%、次いで「子どものスポーツ活動の推進」が16.5%、「スポーツ施設の整備・充実」が16.2%、「初心者向けスポーツ教室の充実」が9.0%、「学校体育施設の開放」「スポーツ団体の活動に対する支援」「各種スポーツ大会やイベントの開催」が5.6%、「高齢者のスポーツ活動の推進」が5.3%と続いています。



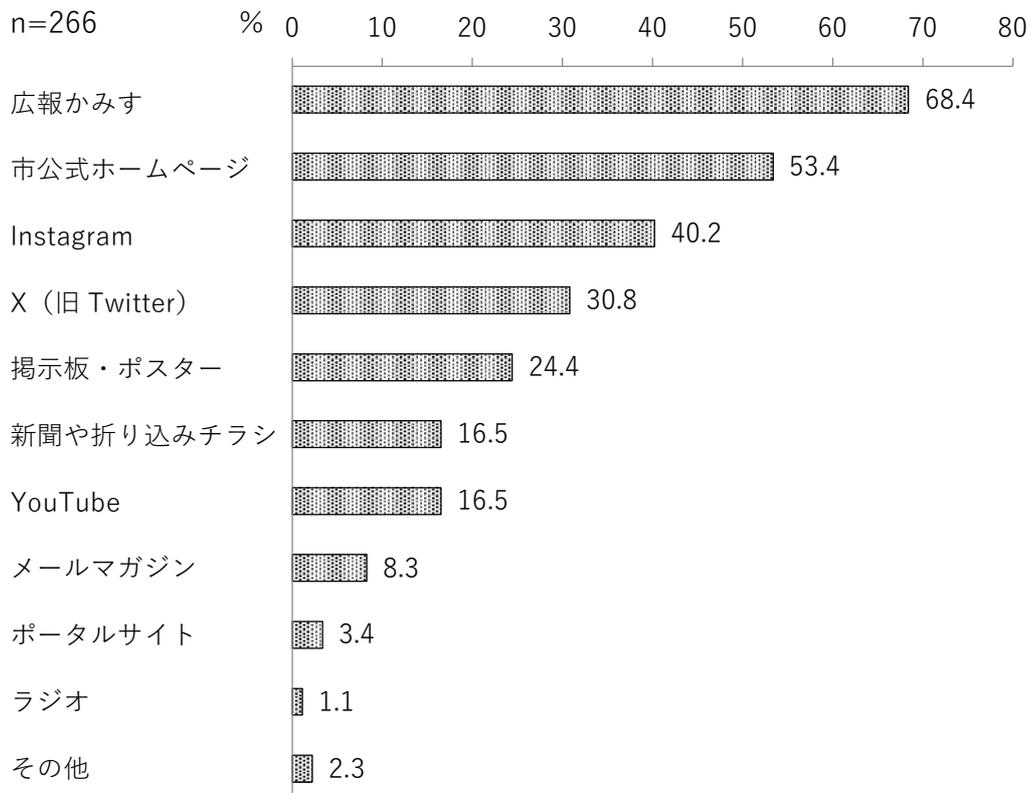
⑭神栖市が行っているスポーツ・運動に関する広報や情報提供について

スポーツ・運動に関する広報や情報提供については、「もっと情報提供を行ってほしい」が58.6%、次いで「今のままで良い」が40.6%、「情報の提供が多すぎる」が0.8%となっています。



⑮スポーツ・運動に関する情報発信方法

情報発信方法として望まれるツールについては、「広報かみす」が68.4%、次いで「市公式ホームページ」が53.4%、「Instagram」が40.2%、「X (旧 Twitter)」が30.8%、「掲示板・ポスター」が24.4%、「新聞や折り込みチラシ」「YouTube」が16.5%、「メールマガジン」が8.3%、「ポータルサイト」が3.4%、「その他」が2.3%「ラジオ」が1.1%となっています。

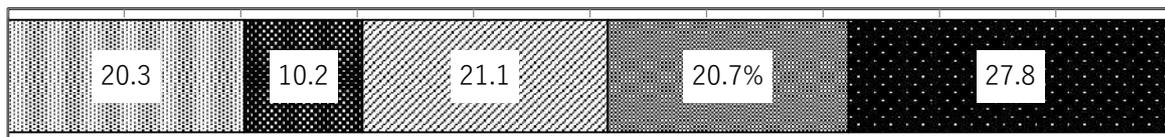


⑩今後の本市としての取り組み方について

今後の本市としての取り組み方については、「プロスポーツの公式試合、各種スポーツ大会や合宿、催し物を開催し、多くの観戦者、参加者に訪れてもらえるような取り組みを進めるべき」が27.8%と最も多く、次いで「市内の民間企業が保有しているスポーツ施設の市民への開放を進めるよう働きかけるべき」が21.1%、「スポーツ環境を充実させるのは市の責務なので、今後とも市がスポーツ施設を整備すべき」が20.7%、「市でスポーツ施設を整備するのは財政負担となるので、なるべく民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ等）の誘致を進めるべき」が20.3%、「市内の民間企業が保有しているスポーツ施設の市民への開放を進めるよう働きかけるべき」が10.2%の順となっています。

- 市でスポーツ施設を整備するのは財政負担となるので、なるべく民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ等）の誘致を進めるべき
- 市内の民間企業が保有しているスポーツ施設の市民への開放を進めるよう働きかけるべき
- 市内の小・中学校・高校などの学校体育施設の市民への開放をもっと進めるべき
- スポーツ環境を充実させるのは市の責務なので、今後とも市がスポーツ施設を整備すべき
- プロスポーツの公式試合、各種スポーツ大会や合宿、催し物を開催し、多くの観戦者、参加者に訪れてもらえるような取り組みを進めるべき

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



n = 266

写真

## 2. スポーツに関する団体等意識調査

### (1) 調査の概要

#### ◆調査の目的

第2期神栖市スポーツ振興基本計画（後期計画）を策定するにあたり、スポーツ団体等に日ごろの活動状況や本市のスポーツ振興に対する意見、要望等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

#### ◆調査対象、方法等

調査地域	市内全域
調査対象者	市内にあるスポーツ団体等
調査方法	Web フォーマットによる配布・回収
調査期間	令和6年10月15日～令和6年11月15日

#### ◆回収状況

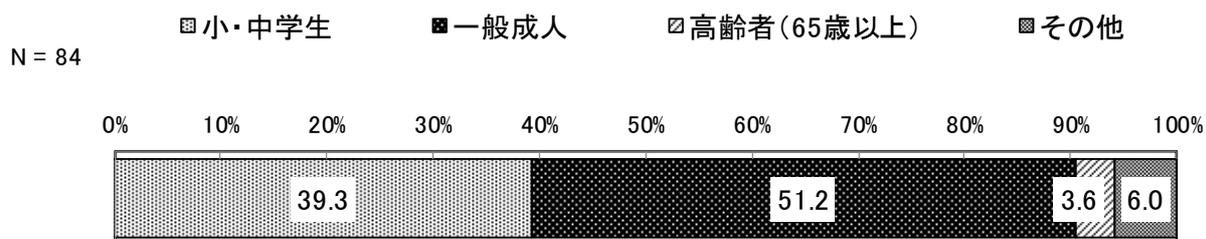
回収数	84票
-----	-----

写真

## (2) 主な調査結果

### ①会員の構成

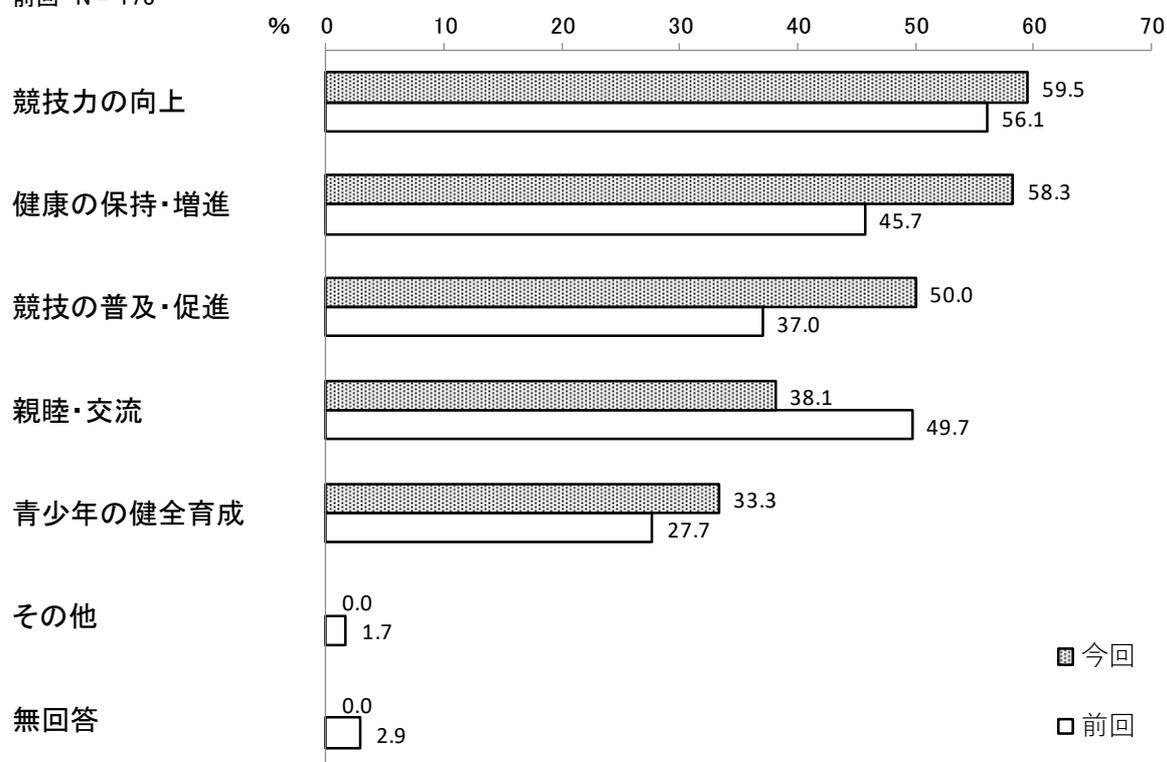
会員の構成については、「一般成人」が51.2%と最も多く、次いで「小・中学生」が39.3%、「高齢者(65歳以上)」が3.6%、「その他」が6.0%の順となっています。「その他」には、“中学生と一般成人”等の世代が混合した団体があります。



### ②活動の目的

活動の目的については、「競技力の向上」が59.5%と最も多く、次いで「健康の保持・増進」が58.3%、「競技の普及・推進」が50.0%、「親睦・交流」が38.1%、「青少年の健全育成」が33.3%の順となっています。

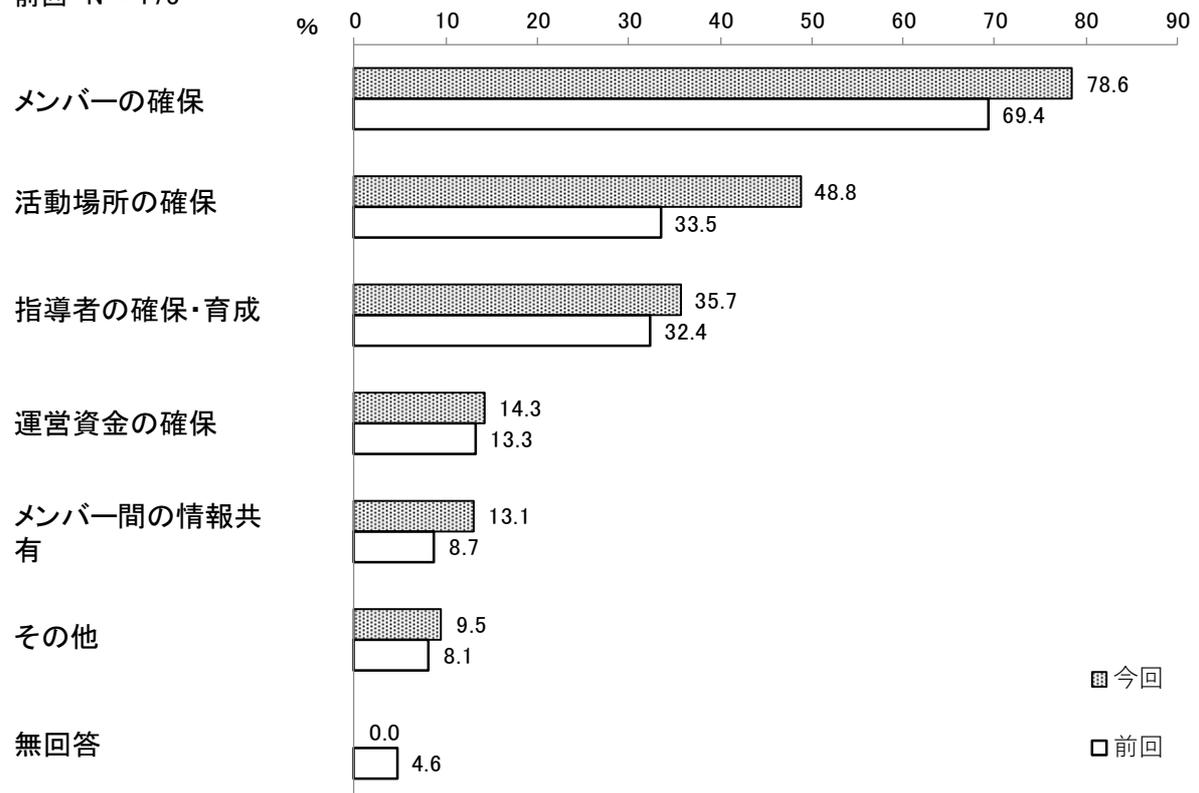
今回 N = 84  
前回 N = 173



### ③運営上の課題

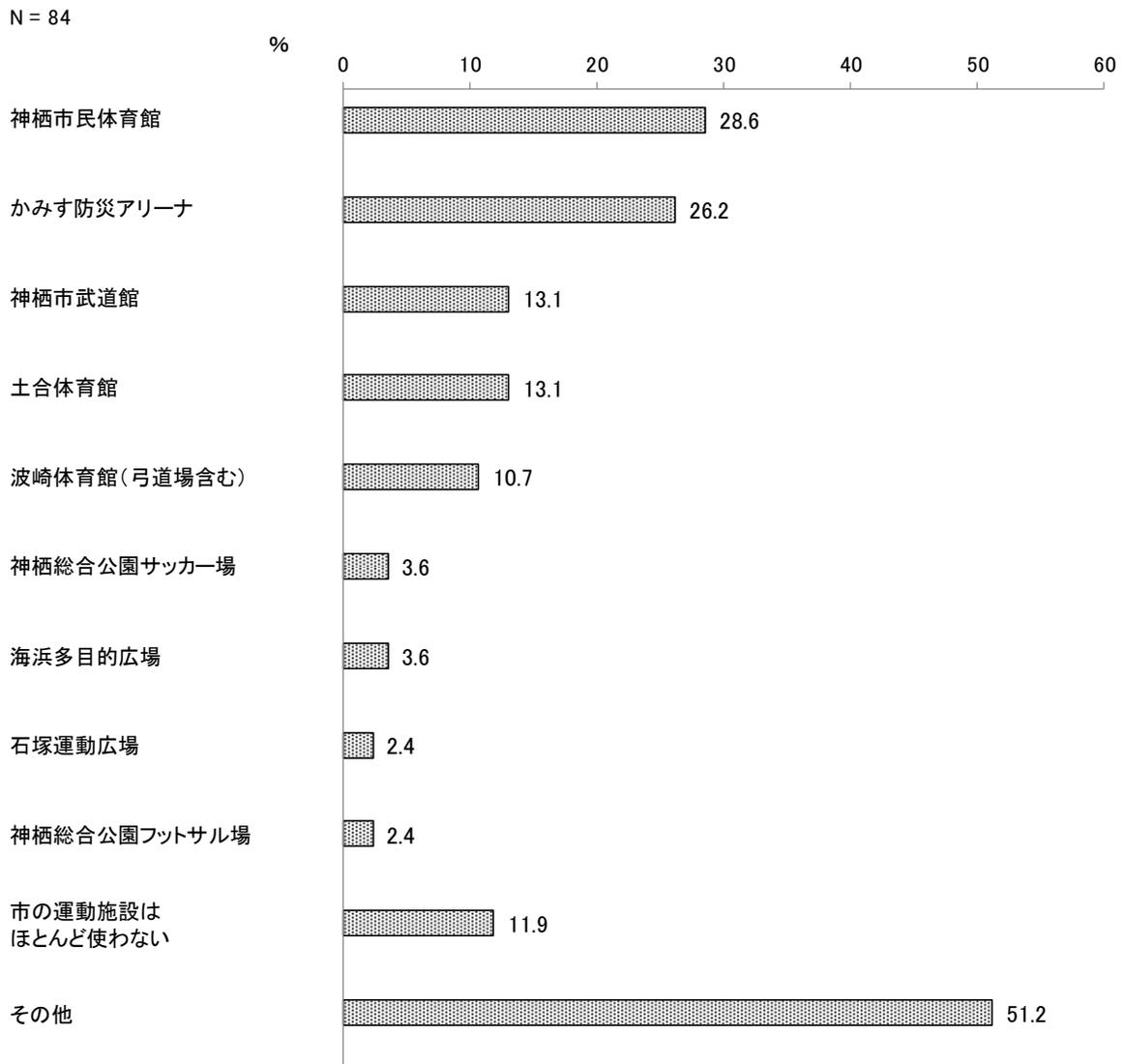
運営上の課題については、「メンバーの確保」が78.6%と最も多く、次いで、「活動場所の確保」が48.8%、「指導者の確保・育成」が35.7%、「運営資金の確保」が14.3%、「メンバー間の情報共有」が13.1%の順となっています。

今回 N = 84  
前回 N = 173



#### ④利用している本市のスポーツ施設

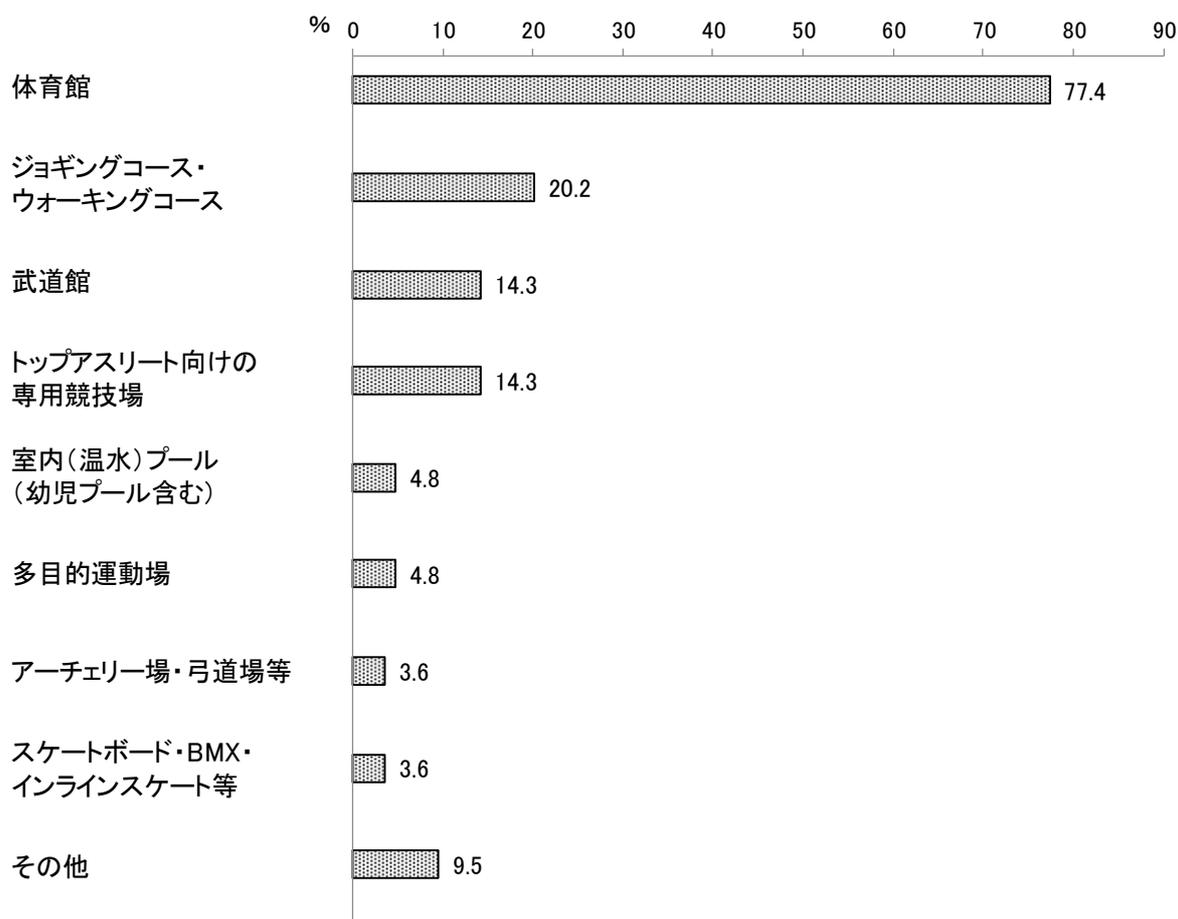
団体・教室活動としてよく利用する本市のスポーツ施設については、「神栖市体育館」が28.6%と最も多く、次いで「かみす防災アリーナ」が26.2%、「神栖市武道館」、「土合体育館」がともに13.1%、「波崎体育館(弓道場含む)」が10.7%、と続いています。



⑤今後整備・充実が必要な市スポーツ施設

今後整備・充実が必要な市スポーツ施設については、「体育館」が77.4%と最も多く、次いで「ジョギングコース・ウォーキングコース等」が20.2%、「武道場」、「トップアスリート向けの専用競技場」がともに14.3%、「室内プール(幼児プール含む)」、「多目的運動場」がともに4.8%と続いています。

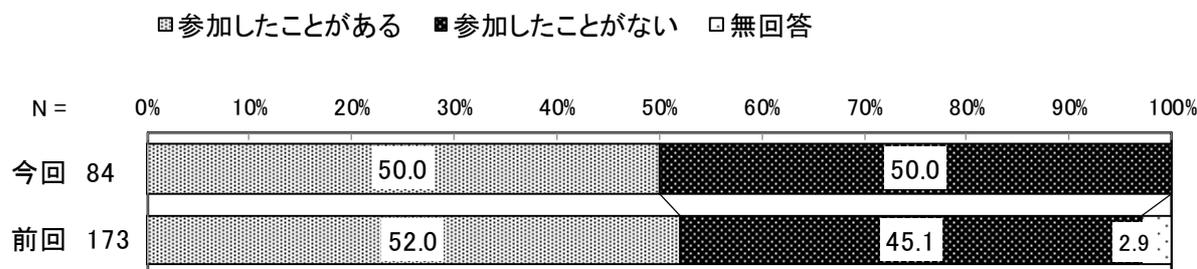
N = 84



⑥本市のスポーツイベントへの参加経験

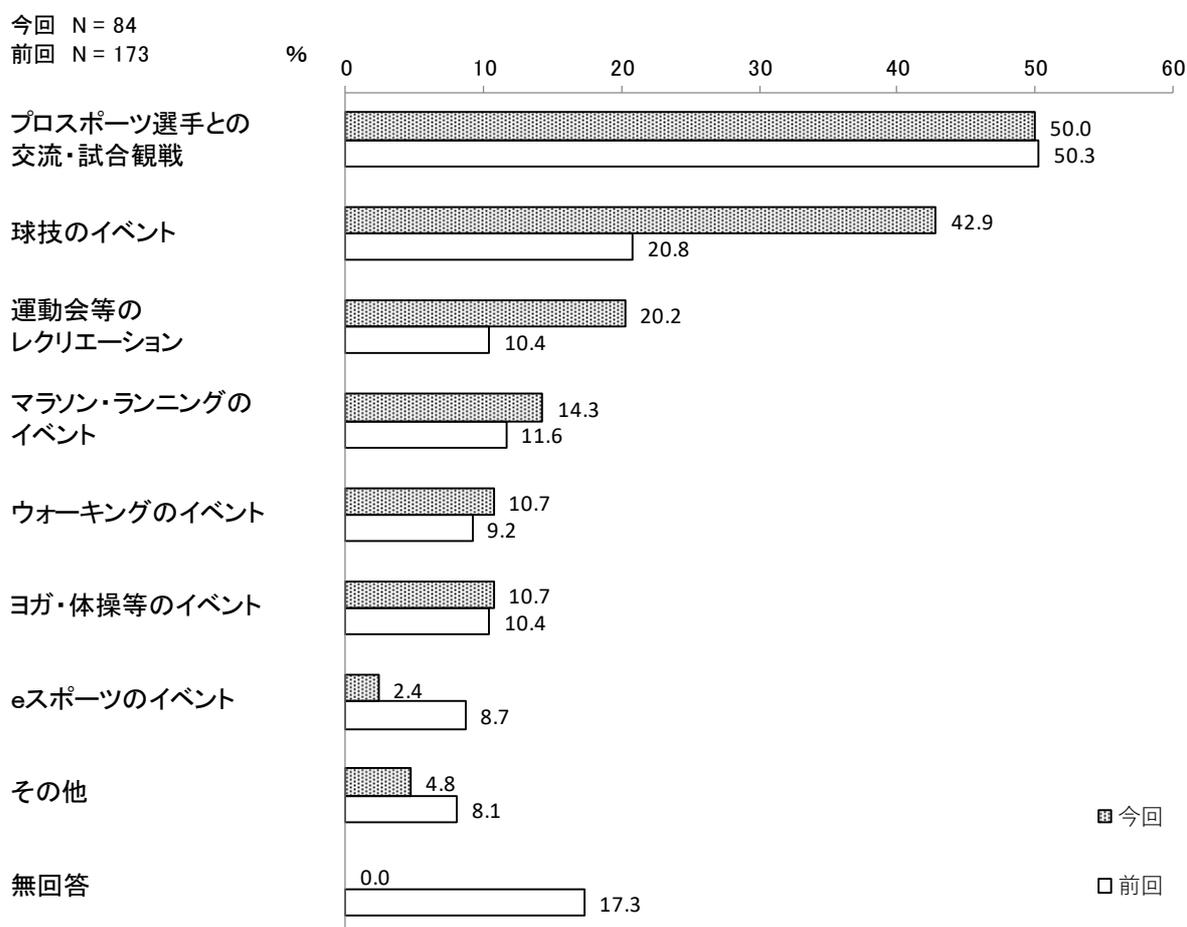
本市のスポーツイベントへの参加経験については、「参加したことがある」が50.0%、「参加したことがない」が50.0%となっています。

前回に比べて、「参加したことがある」が2.0ポイント減少し、「参加したことがない」が4.9ポイント増加しています。



⑦今後、参加してみたいイベント

今後、参加してみたいスポーツイベントについては、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が50.0%と最も多く、次いで「球技のイベント」が42.9%、「運動会等のレクリエーション」が20.2%、「マラソン・ランニングのイベント」が14.3%、「ウォーキングのイベント」「ヨガ・体操等のイベント」がともに10.7%、「eスポーツのイベント」が2.4%の順となっています。



⑧今後本市として取り組むべきこと

今後本市として取り組むべきことについては、「スポーツ団体の活動に対する支援」が48.8%と最も多く、次いで「学校体育施設の開放」が42.9%、「中学校の運動部活動の充実」が41.7%、「子どものスポーツ活動の推進」が39.3%、「健康・体力づくりの推進」が33.3%と続いています。

